

長崎ウエスレヤン大学学則(案)

2002(平成 14)年 4 月 1 日施行
2003(平成 15)年 4 月 1 日一部改正
2004(平成 16)年 4 月 1 日一部改正
2005(平成 17)年 4 月 1 日一部改正
2006(平成 18)年 10 月 11 日一部改正
2007(平成 19)年 4 月 1 日一部改正
2008(平成 20)年 4 月 1 日一部改正
2009(平成 21)年 4 月 1 日一部改正
2010(平成 22)年 4 月 1 日一部改正

長崎ウエスレヤン大学学則(案)

| | |
|------|--------------------------|
| 第一章 | 目的 |
| 第二章 | 自己評価等 |
| 第三章 | 組織 |
| 第四章 | 職員組織 |
| 第五章 | 教授会、大学運営委員会等 |
| 第六章 | 学年、学期及び休業日 |
| 第七章 | 修業年限及び在学年限 |
| 第八章 | 入学 |
| 第九章 | 教育課程、履修方法等 |
| 第十章 | 休学、転学、留学、退学及び除籍 |
| 第十一章 | 卒業及び学位 |
| 第十二章 | 科目等履修生、研究生、特別聴講生及び外国人留学生 |
| 第十三章 | 入学検定料、入学料、授業料等 |
| 第十四章 | 賞罰 |
| 第十五章 | 大学開放及び生涯学習事業 |
| 第十六章 | 雑則 |

第一章 目的

(目的)

第一条 長崎ウエスレヤン大学(以下「本学」という)はキリスト教の信仰から生まれる価値観を基盤とし、倫理性の高い、優れた教養と専門的知識・技術を有する国際的に有為な社会人を育成し、もって地域社会の発展に寄与することを目的とする。

第二章 自己評価及び第三者評価等

(自己点検・評価)

第二条 本学は、教育水準の向上を図り、前条の目的を達成するため、文部科学大臣の定めるところにより、教育及び研究、組織及び運営並びに施設及び設備の状況について、自ら点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。

- 2 本学に自己点検・評価を行うため、長崎ウエスレヤン大学自己点検・評価委員会を置く。
- 3 自己点検・評価に関する必要な事項は別に定める。

(第三者評価)

第三条 本学は、前条の措置に加え、その教育研究等の総合的な状況について、政令で定める期間ごとに、文部科学大臣の認証を受けた者(以下「認証評価機関」という。)による評価

(以下「認証評価」という。)を受けるものとする。ただし、認証評価機関が存在しない場合その他特別の事由がある場合であって、文部科学大臣の定める措置を講じているときは、この限りでない。

- 2 前項の認証評価は、認証評価機関が定める標記基準に従って行なうものとする。

(外部評価委員会の設置)

第四条 本学は、前条の点検及び評価の結果について、本学の職員以外のものによる検証を行うため、長崎ウエスレヤン大学評価協議会を置く。

- 2 長崎ウエスレヤン大学評価協議会に関する必要な事項は別に定める。

(情報の積極的な公開)

第五条 本学における教育研究活動等の状況について、刊行物への掲載その他広く周知を図ることができる方法によって積極的にその情報を公開するものとする。

第三章 組織

(学部、学科、教育研究上の目的、入学定員及び収容定員)

第六条 第一条の大学の目的を実現するため、現代社会学部を置き、福祉コミュニティの形成と持続的発展を目指し、その中核となる人間を育成するため、グローバルな視点とローカルな視点を同時に持つことのできる複眼的思考能力と、福祉コミュニティの形成と持続的発展に必要な専門的能力を養成する。

- 2 前項の学部の目的を達成するため、次の学科を置く。

- (1) 社会福祉学科
- (2) 国際交流学科
- (3) 経済政策学科

- 3 前項の学科における教育研究上の目的は次の通りとする。

- (1) 社会福祉学科は、コミュニティにおける生活の質の全体的向上をめざすという広い視点に立ち、かつ福祉のグローバル化に対応する能力を備えて、福祉・医療・保健・教育・文化のネットワークの中で、福祉援助業務に従事することのできる人材を育成する。
- (2) 国際交流学科は、経済開発・経済協力等の国際地域協力・グローバルビジネスから文化交流まで、国際的に広がりを持つコミュニティの持続的発展に必要な諸分野で、高い語学運用能力と総合的なコミュニケーション能力により、多文化共生社会の担い手となる人材を育成する。
- (3) 経済政策学科は、経済政策と地域経営に関わる教育研究を通じ、国内外を問わず、生活密着型の地域経済社会や住民参加型地域づくりといった幅広い分野において、社会性の高い地域課題の解決を事業として取り組むことのできる問題解決能力と総合的なコミュニケーション能力を有したエンプロイヤビリティの高い人材を育成することを目的とする。

4 前項の学科の学生定員は、次の表に定めるところによる。

| 学 科 | 入 学 定 員 | 3 年 次 編 入 学 定 員 | 収 容 定 員 |
|--------|---------|--------------------|---------|
| 社会福祉学科 | 50 人 | 3 人 | 206 人 |
| 国際交流学科 | 40 人 | 2 人 | 164 人 |
| 経済政策学科 | 70 人 | 3 人 | 290 人 |
| 計 | 160 人 | 10 人 | 660 人 |

第六条の2 本学に、学部教育の基盤となる基本的知識・技能に関する教育プログラムの運営並びに学科専門科目との連携・調整のため、全学教育課程をおく。

(組織・附属施設)

第七条 本学に、本学の学術研究の振興のための管理運営組織として、学術研究部を置く。

2 学術研究部に関する必要な事項は別に定める。

第八条 本学に、本学の国際交流プログラムの推進のための管理運営組織として国際交流部を置く。

2 国際交流プログラムに関する専門的事項を審議するため、国際交流部に国際交流委員会、留学生募集入試委員会及び留学生支援センターを置く。

3 国際交流部及び前項に定める委員会・センターに関する必要な事項は別に定める。

第九条 本学に、学生募集、入学試験及び高大連携事業等に関する管理運営組織として、アドミッションセンターを置く。

2 アドミッションセンターに、専門的事項を審議するため、学生募集・入試委員会、入学試験作問委員会及び高大連携教育室を置く。

3 アドミッションセンター及び前項に定める委員会・センターに関する必要な事項は別に定める。

第十条 本学に次の組織及び附属施設を置く。

- (1) 附属図書館
- (2) 地域総合研究所
- (3) ピースセンター
- (4) 地域連携推進センター

4 前項の附属施設に関し必要な事項は別に定める。

第四章 職員組織

(職員)

第十一条 本学に、学長、宗教主事、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員、技術職員及びその他の必要な職員を置く。

2 学長が必要と認めた場合には副学長を置くことができる。

(各組織の長及びその職務)

第十二条 本学に、学長のほか、宗教主事、事務局長、学部長、学科長、全学教育課程長、学術研究部長、附属図書館長、地域総合研究所長、国際交流部長、アドミッションセンター長及び生涯学習センター長を置く。

2 学長は本学の最高責任者として、校務をつかさどり、所属職員を統督する。

3 宗教主事は、本学のキリスト教教育の任に当る。

4 副学長は学長を補佐し、特命された校務に関する事項を掌理する。

5 事務局長は、事務局の事務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

6 学部長は、本学の教授をもって充て、学部の教育研究及び学生の福利厚生に関する事項を掌理する。

7 学科長は、現代社会学部の各学科に置き、各学科の教授をもって充て、学部長の命を受け各学科の運営に関する連絡調整を行なう。

8 全学教育課程長は、全学教育課程の教授をもって充て、学部長の命を受け全学教育課程の運営並びに各学科との連絡調整を行う。

9 学術研究部長は、本学の教授をもって充て、大学の学術研究に関する事項を掌理する。

10 附属図書館長は、本学の教授をもって充て、附属図書館に関する事項を掌理する。

11 地域総合研究所長は、本学の教授をもって充て、地域総合研究所の活動に関する事項を掌理する。

12 国際交流部長は、本学の教授をもって充て、国際交流プログラム全般の運営に関する事項を掌理する。

13 アドミッションセンター長は、本学の教授を持って充て、学生募集活動、入学試験並びに高大連携プログラムの運営に関する事項を掌理する。

14 地域連携推進センター長は、本学の教員をもって充て、本学の地域連携の推進に関する事項を掌理する。

15 第3項から第14項までに規定する者の選考、任期その他の必要な事項については学長が別に定める。

第五章 教授会、大学運営委員会等

(教授会)

第十三条 本学の教育研究に関する重要な事項を審議するため、教授会を置く。

2 教授会は学長、教授、准教授、専任講師、助教及び事務局長をもって組織する。

3 教授会に教育課程及び学生の福利厚生に関する専門的事項を審議するため、教務委員会、学生委員会、キャリア支援センター及び教職課程運営委員会を置く。

4 教授会及び前項の各委員会・センターに関する必要な事項は別に定める。

(専門委員会)

第十四条 本学に、学長の付託を受けて専門的事項を審議するため、専門委員会を次のように置く。

- (1) コンピュータネットワークに関する専門的事項を審議するためネットワーク管理委員会を置く。
- (2) 教員の人事に関する専門的事項を審議するため教員人事委員会を置く。

2 前項各号の委員会の構成員及び運営に関する必要な事項は別に定める。

(大学運営委員会)

第十五条 本学の管理運営に関する重要な事項を審議するため、大学運営委員会を置く。

2 大学運営委員会は、学長、副学長、事務局長、学部長及び学術研究部長をもって組織する。

3 大学運営委員会に関する必要な事項は別に定める。

第六章 学年、学期及び休業日

(学年)

第十六条 学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期)

第十七条 学年を次の2学期にわけるとする。

- (1) 前期 4月1日～9月30日
- (2) 後期 10月1日～3月31日

(休業日)

第十八条 休業日は次のとおりとする。

- (1) 土曜日及び日曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号第3条)に規定する休日
- (3) 学院創立記念日 10月23日
- (4) 春期休業日 3月21日～3月31日
- (5) 夏期休業日 8月1日～9月30日
- (6) 冬期休業日 12月25日～1月7日

2 学長は第1項の規定に関わらず、特別の必要があると認めるときは、臨時に休業日を設け、又は休業日を変更し、若しくは休業日に授業を行うことができる。

第七章 修業年限及び在学年限

(修業年限)

第十九条 本学の修業年限は4年とする。

(在学年限)

第二十条 学生は8年を超えて在学することはできない。ただし、第二十六条、第二十七条、第二十八条の規定により入学した学生は、第二十九条の規定により定められた在学すべき年数の二倍に相当する期間を超えて在学することができない。

第八章 入学

(入学の時期)

第二十一条 入学の時期は学年の始めとする。

2 ただし、第二十六条から第二十八条までの規定により入学する場合及び特別の必要があり、かつ、教育上支障がないと認められる場合は、学期の始めとする。

(入学資格)

第二十二条 本学に入学することができる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 高等学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は通常の課程以外の課程により、これに該当する学校教育を修了した者
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 学校教育法施行規則(昭和22年文部省省令第13号)第69条第3号の規定により、文部科学大臣の指定した者
- (6) 大学入学資格検定規程(昭和26年文部省省令第13号)により文部科学大臣の行う大学入学資格検定に合格した者
- (7) 前各号に定める者の他、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると学長が認めた者

(入学の出願)

第二十三条 本学に入学を志願する者は、本学指定の期日までに、本学所定の書類に入学検定料を添えて学長に提出しなければならない。

(入学者の選考)

第二十四条 前条の入学志願者については、別に定めるところにより、選考を行う。

2 選考による合格者の決定は、教授会の議を経て学長が行う。

(入学手続き及び入学許可)

第二十五条 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、所定の期日までに、本学所定の書類を提出するとともに、所定の入学料を納付しなければならない。

- 2 学長は、前項の入学手続きを完了した者に入学を許可する。
- 3 前項の規定により入学を許可された者が、入学を辞退しようとする場合は、大学の定める期日までに申し出なければならない。

(編入学)

第二十六条 本学の第3年次に編入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 大学及び短期大学の課程を卒業した者か、卒業見込みの者
- (2) 高等専門学校課程を卒業した者か、卒業見込みの者
- (3) 学校教育法第八十二条の十(最終改正 平十一・五・二十八 法五五)に定める専修学校を卒業した者か、卒業見込みの者

(転入学及び転学科)

第二十七条 本学に転入学を志願する者があるときは、欠員のある場合に限り、選考の上、相当年次に入学を許可することができる。

第二十七条の二 本学に入学した者で、他の学科に転学科を志願する者があるときは、当該転学科先の学科の欠員のある場合に限り、選考の上、各学期の始めに転学科を許可することができる。ただし、転学科を許可する回数は1回とし、その時期は、1年次後期から3年次に進級する学期の始めまでとする。

(再入学)

第二十八条 本学に再入学を志願する者があるときは、欠員のある場合に限り、選考の上、相当年次に入学を許可することができる。

(編入学等の場合の取扱い)

第二十九条 第二十六条、第二十七条及び第二十八条の規定により入学を許可された者の既に修得した授業科目及びその単位数の取扱い、履修すべき授業科目並びに在学すべき年数については、教授会の議を経て学長が決定する。

第二十九条の二 第二十七条の二の規定により転学科を許可された者の既に修得した授業科目数及びその単位数の取扱い、履修すべき授業科目並びに在学すべき年数については、教授会の議を経て、学長が決定する。

第九章 教育課程、履修方法等

(教育課程)

第三十条 本学の教育課程は、各授業科目を必修科目、選択科目及び自由科目に分け、これを各年次に配当して編成するものとする。

2 授業科目の種類及び単位数等は別表第1のとおりとする。

第三十条の2 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行なうものとする。

- 2 前項の授業は、文部科学大臣の別に定めるところにより、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行なう教室等以外の場所で履修させることができる。
- 3 本学は、第1項の授業を、外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行なう教室等以外の場所で履修させる場合についても、同様とする。

第三十条の3 本学は、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。

(単位の計算方法)

第三十一条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算するものとする。

- (1) 講義については15時間、演習については30時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験、実習については30時間、実技については45時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により授業を行う場合、その組み合わせに応じ、前2号の基準を考慮して15時間から45時間の授業をもって1単位とする。

なお、各方法の授業時間数は、前2号の規定する基準に対する1単位当たりの標準学修時間の割合を各授業時間数に乗じた総和が45となるように定めるものとする。

- 2 前項の規定にかかわらず、教育効果を考慮して特に必要がある場合は、前項第1号の講義及び演習については15時間から30時間の範囲で、前項第2号の実験、実習及び実技については30時間から45時間の範囲で、授業時間を定めることができる。
ただし、芸術等の分野における個人指導による実技の授業については、この限りではない。
- 3 前2項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これに必要な学修等を考慮して、単位数を定めることができる。

(一年間の授業期間)

第三十二条 一年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め35週とすることを原則とする。

(単位の授与)

第三十三条 授業科目を履修し、その試験に合格した者には、所定の単位を与える。

(成績の評価)

第三十四条 成績の評価は100点満点とし、A(80点以上)、B(79点～70点)、C(69点～60点)、D(59点以下)の評語をもって表し、A、B及びCを合格とする。

(他の大学又は短期大学における授業科目の履修等)

第三十五条 学長が教育上有益と認めるときは、他の大学又は短期大学との協議に基づき、

学生が他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、60 単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により取得したものとみなすことができる。

- 2 前項の規定は、本学の学生が外国の大学又は短期大学に留学する場合及び外国の大学又は短期大学が行う通信教育における授業科目を履修する場合について準用する。

(大学以外の教育施設等における学修)

第三十六条 学長が教育上有益と認めるときは、本学の学生が他の短期大学又は高等専門学校の特攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修と見なし、別に定めるところにより単位を与えることができる。

- 2 前項により与えることができる単位数は、前条により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて 60 単位を超えないものとする。

(入学前の既修得単位等の認定)

第三十七条 学長は教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位(大学又は短期大学において科目等履修生として修得した単位を含む。)を、本学における入学した後の授業科目の履修により修得したものと見なすことができる。

- 2 学長は教育上有益と認めるときは、学生が入学する前に行った前条第1項に規定する学修を、本学における授業科目の履修とみなし、別に定めるところにより単位を与えることができる。
- 3 前二項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、第二十六条の編入学、第二十七条の転入学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第三十五条第1項及び第2項並びに第三十六条第1項により本学において履修したものとみなす単位と合わせて 60 単位を超えないものとする。

(教育職員免許状の所要資格を取得するための課程)

第三十八条 教育職員法(昭和二十四年法律第百四十七号)の規定に基づく普通免許状の所要資格を取得しようとする者は、同法及び教育職員免許法施行規則(昭和二十九年文部省令第二十六号)の定めるところにより、別表第2に定める課程を修得しなければならない。

- 2 本学において取得できる普通免許状の種類及び免許教科は次のとおりとする。

| 現代 社会 学部 | 学 科 | 取得免許状の種類 | |
|----------------|--------|------------|-------------|
| | | 中学校教諭一種免許状 | 高等学校教諭一種免許状 |
| | 社会福祉学科 | — | 福 祉 公 民 |
| | 国際交流学科 | 英 語 | 英 語 |
| | 経済政策学科 | 社 会 | 公 民 |

(その他)

第三十九条 この章に定めるもののほか、授業科目の履修方法その他必要な事項は学長が

別に定める。

第十章 休学、転学、留学、退学及び除籍

(休学)

第四十条 疾病その他やむを得ない事情により3ヶ月以上修学することができない者は、学長の許可を得て休学することができる。

2 疾病のため修学することが適当でないと認められる者については、学長は教授会の議を経て、当該学生に休学を命ずることができる。

3 休学の期間は1年を超えることができない。ただし、特別の事由がある場合は、学長の許可を得て、1年を限度として延長することができる。

4 休学の期間は通算して4年を超えることはできない。

5 休学の期間は第二十条に規定する在学年限に算入しない。

(復学)

第四十一条 休学期間中にその理由が消滅した場合は、学長の許可を得て復学することができる。

(転学)

第四十二条 他の大学等への入学又は転入学を志願しようとする者は、学長の許可を受けなければならない。

(留学)

第四十三条 外国の大学又は短期大学で学修することを志願する者は、別に定めるところにより、学長の許可を得て留学することができる。

2 前項の許可を得て留学した期間は、第二十条に規定する在学期間を含めることができる。

3 第三十五条の規定は、第1項の許可を得て留学する場合に準用する。

(退学)

第四十四条 退学しようとするものは、別に定めるところにより学長の許可を受けなければならない。

(除籍)

第四十五条 次の各号の一に該当する者は、教授会の議を経て学長が除籍することができる。

(1) 第二十条の規定により定められた在学年限を超えた者

(2) 第四十条の規定により定められた休学期間を超えて、なお復学することができない者

(3) 授業料の納付を怠り、督促してもなお納付しない者

(4) 死亡した者又は長期間にわたり行方不明の者

2 前項第二号により除籍となった者が、所定の期日内に学費を納付した場合、復籍を認めることがある。

(その他)

第四十六条 第四十条から第四十五条に関して必要な事項は別に定める。

第十一章 卒業及び学位

(卒業)

第四十七条 本学に4年(第二十六条から第二十八条までの規定により入学したものについては、第二十九条の規定により定められた在学すべき年数)以上在学し、所定の授業科目を履修し、及び所定の単位数を修得した者については、教授会の議を経て学長が卒業を認定する。

2 学長は、前項の卒業を認定した者に対して、卒業証書を授与する。

(3年次卒業)

第四十八条 本学に3年以上在学した者で、別に定める卒業の要件を満たしている場合には、前条の規定にかかわらずその卒業を学長は認定することができる。

(学位の授与)

第四十九条 学長は、学長は、前2条により卒業を認定した者に次の学位を授与する。

| 学科 | 学位 |
|--------|-----------|
| 社会福祉学科 | 学士(社会福祉学) |
| 国際交流学科 | 学士(国際交流) |
| 経済政策学科 | 学士(経済政策学) |

2 学位の授与に関し必要な事項は別に定める。

第十二章 科目等履修生、研究生、特別聴講生及び外国人留学生

(科目等履修生)

第五十条 本学において、一又は複数の授業科目の履修を希望する者があるときは、選考の上、教授会の議を経て学長は、科目等履修生として履修を許可することができる。

(特別聴講生)

第五十一条 他の大学又は短期大学(外国の大学又は短期大学を除く。以下この条において同じ。)の学生で、本学において授業科目を履修することを志願する者があるときは、当該他の大学又は短期大学との協議に基づき、学長は、特別聴講生として入学を許可することができる。

(研究生)

第五十二条 本学において、特定の専門事項について研究することを志願する者があるときは、選考の上、教授会の議を経て学長は、入学を許可することができる。

2 研究生となることを志願することができる者は大学を卒業した者又はこれと同等以上の能力があると学長が認めた者とする。

(委託生)

第五十三条 本学において、官公庁、学校、団体等からその所属する職員に特定の事項について研修させるため委託があるときは、選考の上、教授会の議を経て学長は、委託生として入学を許可することができる。

(外国人留学生)

第五十四条 外国人で、本学に入学を志願する者があるときは、選考の上、教授会の議を経て学長は、外国人留学生として入学を許可することができる。

2 前項のほか、外国の大学又は短期大学の学生で、本学において授業科目を履修することを志願する者があるときは、当該他の大学又は短期大学との協議に基づき、学長は、当該学生の入学を許可することができる。

(科目等履修生等の取扱い)

第五十五条 前五条に定めるもののほか、科目等履修生、研究生、委託生、特別聴講生及び外国人留学生に関し必要な事項は別に定める。

第十三章 入学検定料、入学料、授業料等

(授業料等の金額)

第五十六条 本学の入学検定料、入学料、授業料、教育充実費及びその他の費用の納入額は別表第3のとおりとする。

(授業料等の納入期)

第五十七条 授業料等は次の2期に分け、別表第3に定めるところにより、納入しなければならない。

前期分 4月中

後期分 10月中

2 経済的事由により授業料等の納付が困難であつて、学業優秀と認められた者その他やむを得ない事情があると認められた者については、授業料等の全部若しくは一部の納付を免除し、又はその徴収を猶予することができる。

3 第四十条により休学を認められた学生の学納金は、各学期の授業料及び教育充実費の半額を納入するものとする。

4 学期途中で退学する者の当該学期分の学費等は、これを徴収する。

5 停学期間中の者の学費等は、これを徴収する。

6 いったん納付された検定料及び学費等は、返還しない。ただし、第二十五条第3項の規定

により、大学の定める期日までに入学辞退の申し出があった場合に限り、入学金を除く学費等を返還する。

7 前6項の他、授業料等の納入に関し必要な事項は別に定める。

第十四章 賞罰

(表彰)

第五十八条 学長は、表彰に値する行為があった学生を、教授会の議を経て表彰することができる。

(懲戒)

第五十九条 学長は、本学の学則その他学生に関する諸規程に違反し、又は学生としての本分に反する行為をした者に対して、教授会の議を経て、懲戒することができる。

2 前項の懲戒の種類は、退学、停学及び訓告とする。

3 前項の退学は、次の各号のいずれかに該当する者に対して行うことができる。

- (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
- (2) 学業を怠り卒業の見込みがないと認められる者
- (3) 正当な理由がなくて出席が常でない者
- (4) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

第十五章 大学開放及び生涯学習事業

(大学開放)

第六十条 本学は、教育研究上の支障のない限りにおいて、その教育研究施設及び設備を積極的に開放する。

(生涯学習事業)

第六十一条 本学は、地域社会の発展に寄与するため、生涯学習事業をととして本学の教育研究資源の地域社会への還元積極的に努めるものとする。

第十六章 雑則

(雑則)

第六十二条 この学則に定めるもののほか、この学則の施行に関し必要な事項は学長が別に定める。

附 則

1. この学則は2002(平成14)年4月1日から施行する。
ただし、第二十二條、第二十三條、第二十四條、第五十六條、第五十七條の規定は、文部科学大臣が本学の設置を認可した日より施行する。
2. 第五條第2項の規定の適用にあたって、同條中の収容定員については、次表に掲げる年度の人数に読み替えるものとする。

| 年度 | 1年次 | 2年次 | 3年次 | 4年次 | 収容定員 |
|--------|------|------|------|-----|------|
| 平成14年度 | 200人 | — | 20人 | — | 220人 |
| 平成15年度 | 200人 | 200人 | 20人 | 20人 | 440人 |
| 平成16年度 | 200人 | 200人 | 220人 | 20人 | 640人 |

3. 長崎ウエスレヤン短期大学の平成13年度及び平成14年度の卒業者については、前号に関わらず、次表に掲げる年度の入学定員の範囲内で、本学の第3年次に編入学することができるものとする。

| 年度 | 第3年次編入学定員 | 編入学資格 |
|--------|-----------|---------------------------|
| 平成14年度 | 200人 | 長崎ウエスレヤン短期大学 平成13年度卒業生 |
| 平成15年度 | 200人 | 長崎ウエスレヤン短期大学 平成14年度卒業生 |

附 則

この学則は、2003(平成15)年4月1日から施行する。

附 則

1. この学則は、2004(平成16)年4月1日から施行する。
2. 第三十條第2項の別表第1及び第三十八條第1項の別表第2の教育課程表は2004年度入学生から適用し、2003年度より以前に入学した学生については、従前の教育課程表による。

附 則

1. この学則は、2005(平成17)年4月1日から施行する。
2. 現代社会学部福祉コミュニティ学科の存続に関する経過措置
第六條第1項の規定に関らず、現代社会学部福祉コミュニティ学科は、当該学科に在学する者がいなくなるまでの間存続するものとし、教育課程に関する規程は従前によるものとする。
第三十八條第2項の規定に関らず、現代社会学部福祉コミュニティ学科における取得教員免許状の種類及び免許教科は、なお従前の例による。
3. 第六條第2項の規定に関らず、2005(平成17)年度及び2006(平成18)年の3年次編入学定員は次のとおりとする。

| 学科名 | 3年次編入学定員 | |
|------------|--------------|-------------|
| | 2005(平成17)年度 | 2006(平成18)年 |
| 福祉コミュニティ学科 | 20人 | 20人 |
| 社会福祉学科 | 0人 | 0人 |
| 地域づくり学科 | 0人 | 0人 |
| 国際交流学科 | 0人 | 0人 |

附 則

この学則は、2006(平成18)年10月11日から施行する。

附 則

この学則は、2007(平成19)年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、2008(平成20)年4月1日から施行する。

附 則

- この学則は、2009(平成21)年4月1日から施行する。
- 別表第Ⅰに定める授業科目及び単位数のうち、下記の科目については、2009(平成21)年度2年次転入学生及び3年次編入学生より適用するものとする。
「医学一般」、「社会福祉原論Ⅰ」、「社会福祉原論Ⅱ」、「ソーシャルワーク総論Ⅰ」、「ソーシャルワーク総論Ⅱ」、「社会保障論Ⅰ」、「社会保障論Ⅱ」、「公的扶助論」、「地域福祉論Ⅰ」、「地域福祉論Ⅱ」、「社会福祉援助技術論Ⅰ」、「社会福祉援助技術論Ⅱ」、「福祉行財政と福祉計画」、「福祉運営管理」、「高齢者福祉論Ⅰ」、「高齢者福祉論Ⅱ」、「障害者福祉論」、「児童福祉論」、「保健医療サービス」、「就労支援サービス」、「権利擁護と成年後見制度」、「更生保護制度」、「介護概論」、「スピリチュアルケア概論」、「死生学特講」、「パストラルケア論」、「緩和ケア論」、「医療ボランティア論」、「スピリチュアルケア技術論Ⅰ」、「スピリチュアルケア技術論Ⅱ」、「臨床社会学」、「いのちの教育」、「相談援助演習Ⅰ」、「相談援助演習Ⅱ」、「相談援助演習Ⅲ」、「相談援助演習Ⅳ」、「相談援助演習Ⅴ」、「相談援助実習指導Ⅰ」、「相談援助実習指導Ⅱ」、「相談援助実習指導Ⅲ」、「相談援助実習」、「スピリチュアルケア演習」

附 則

- この学則は、2010(平成22)年4月1日から施行する。
- 現代社会学部地域づくり学科の存続に関する経過措置
第六条第1項の規定に関らず、現代社会学部地域づくり学科は、当該学科に在学する者がいなくなるまでの間存続するものとし、教育課程に関する規程は従前によるものとする。
第三十八条第2項の規定に関らず、現代社会学部地域づくり学科における取得教員免許状の種類及び免許教科は、なお従前の例による。

3. 第六条第4項の規定に関わらず、2010(平成22)年度及び2011(平成23)年度の3年次編入学定員は次のとおりとする。

| 学科 | 3年次編入学定員 | |
|---------|-------------------|-------------------|
| | 2010(平成22) 年 度 | 2011(平成23) 年 度 |
| 社会福祉学科 | 5人 | 5人 |
| 国際交流学科 | 2人 | 2人 |
| 地域づくり学科 | 3人 | 3人 |
| 経済政策学科 | 0人 | 0人 |

別表第Ⅰ 授業科目の種類及び単位数
1.社会福祉学科(2010年度入学者適用)

| 区分 | 科目名 | 配当年次 | | 単位数又は時間数 | | | 備考 | |
|----------|--------------|-----------------------|----|----------|----|----|----|--|
| | | | | 必修 | 選択 | 自由 | | |
| 基礎科目 | 建学の理念と歴史 | 1 | 前期 | 2 | | | | |
| | 大学入門Ⅰ | 1 | 前期 | 1 | | | | |
| | 大学入門Ⅱ | 1 | 後期 | 1 | | | | |
| | コミュニケーションスキル | 2 | 前期 | 1 | | | | |
| | キャリアデザイン | 2 | 後期 | 1 | | | | |
| | 基礎演習Ⅰ | 1 | 通年 | 2 | | | | |
| | 基礎演習Ⅱ | 2 | 通年 | 2 | | | | |
| 小計(7科目) | | - | | 10 | 0 | 0 | | |
| 全学教育科目 | 英語 | CALL ENGLISHⅠ | 1 | 前期 | 1 | | | |
| | | CALL ENGLISHⅡ | 1 | 後期 | 1 | | | |
| | | Reading & VocabularyⅠ | 1 | 前期 | 1 | | | |
| | | Reading & VocabularyⅡ | 1 | 後期 | 1 | | | |
| | | Reading & VocabularyⅢ | 2 | 前期 | | 1 | | |
| | | Reading & VocabularyⅣ | 2 | 後期 | | 1 | | |
| | | スピーキングⅠ | 1 | 前期 | | 1 | | |
| | | スピーキングⅡ | 1 | 後期 | | 1 | | |
| | | スピーキングⅢ | 2 | 前期 | | 1 | | |
| | | スピーキングⅣ | 2 | 後期 | | 1 | | |
| | | 英語コミュニケーションⅠ | 2 | 前期 | | 2 | | |
| | | 英語コミュニケーションⅡ | 2 | 後期 | | 2 | | |
| | | TOEIC PREP.Ⅰ | 1 | 前期 | | 1 | | |
| | | TOEIC PREP.Ⅱ | 1 | 後期 | | 1 | | |
| | TOEIC PREP.Ⅲ | 2 | 前期 | | 1 | | | |
| | TOEIC PREP.Ⅳ | 2 | 後期 | | 1 | | | |
| | 中国語 | 中国語入門Ⅰ | 1 | 前期 | | 1 | | |
| | | 中国語入門Ⅱ | 1 | 後期 | | 1 | | |
| | | 中国語会話Ⅰ | 1 | 後期 | | 1 | | |
| | | 中国語会話Ⅱ | 2 | 前期 | | 1 | | |
| | 日本語 | 日本語Ⅰ-a | 1 | 前期 | | 1 | | |
| | | 日本語Ⅰ-b | 1 | 前期 | | 1 | | |
| | | 日本語Ⅰ-c | 1 | 前期 | | 1 | | |
| | | 日本語Ⅰ-d | 1 | 前期 | | 1 | | |
| | | 日本語Ⅰ-e | 1 | 前期 | | 1 | | |
| | | 日本語Ⅰ-f | 1 | 前期 | | 1 | | |
| | | 日本語Ⅰ-g | 1 | 前期 | | 1 | | |
| | | 日本語Ⅰ-h | 1 | 前期 | | 1 | | |
| | | 日本語Ⅰ-i | 1 | 前期 | | 1 | | |
| | | 日本語Ⅰ-j | 1 | 前期 | | 1 | | |
| | | 日本語Ⅰ-k | 1 | 前期 | | 1 | | |
| | 日本語スピーキングⅠ | 1 | 前期 | | 1 | | | |
| | 韓国語 | 韓国語コミュニケーションⅠ | 1 | 前期 | | 1 | | |
| | | 韓国語コミュニケーションⅡ | 1 | 後期 | | 1 | | |
| | 手話・点字 | 日本語手話 | 2 | 前期 | | 2 | | |
| | | 日本語応用手話 | 2 | 後期 | | 2 | | |
| | | 点字 | 2 | 後期 | | 2 | | |
| 小計(37科目) | | - | | 4 | 38 | 0 | | |
| 情報処理 | 情報処理論 | 1 | 前期 | 2 | | | | |
| | 情報処理演習Ⅰ | 1 | 前期 | 1 | | | | |
| | 情報処理演習Ⅱ | 1 | 後期 | 1 | | | | |
| | 情報処理演習Ⅲ | 2 | 前期 | | 1 | | | |
| | 統計学Ⅰ | 1 | 前期 | | 2 | | | |
| 統計学Ⅱ | 1 | 後期 | | 2 | | | | |
| 小計(6科目) | | - | | 4 | 5 | 0 | | |
| 教養科目 | 哲学 | 1 | 前期 | | 2 | | | |
| | 倫理学 | 1 | 後期 | | 2 | | | |
| | 死生学 | 2 | 前期 | | 2 | | | |
| | 法学 | 2 | 前期 | | 2 | | | |
| | 法律学 | 1 | 前期 | | 2 | | | |
| | 心理学 | 1 | 前期 | | 2 | | | |
| | 経済学 | 1 | 後期 | | 2 | | | |

| 区分 | 科目名 | 配当年次 | | 単位数又は時間数 | | | 備考 | |
|-------------|---------------|--------------------|-------------|----------|----|----|----|---|
| | | | | 必修 | 選択 | 自由 | | |
| 全学教育科目 | 教養科目 | 日本史 | 2 | 前期 | | 2 | | |
| | | 外国史 | 2 | 後期 | | 2 | | |
| | | 地理学 | 1 | 前期 | | 2 | | |
| | | 現代社会と科学 | 2 | 後期 | | 2 | | |
| | | 現代社会と芸術 | 1 | 前期 | | 2 | | |
| | | 健康の科学 | 1 | 前期 | | 2 | | |
| | | スポーツ実習 | 1 | 前期 | | 1 | | |
| | | 医学一般 | 1 | 後期 | | 2 | | |
| | 小計(15科目) | | - | | 0 | 29 | 0 | |
| | 導入科目 | 福祉コミュニティ総論 | 1 | 前期 | 2 | | | |
| | | 共生社会論 | 1 | 後期 | | 2 | | |
| | | NICEキャンパスコーディネート科目 | 2 | 後期 | | 2 | | |
| | | コミュニティサービスⅠ | 1・2 | 前・後 | | 2 | | |
| | | 小計(4科目) | | - | | 2 | 6 | 0 |
| | 学部基幹科目 | 現代社会とキリスト教Ⅰ | 1 | 前期 | 2 | | | |
| | | 現代社会とキリスト教Ⅱ | 4 | 後期 | 2 | | | |
| | | 社会学原論 | 1 | 前期 | 2 | | | |
| | | コミュニケーション論 | 2 | 前期 | | 2 | | |
| | | ミクロ経済学Ⅰ | 1 | 後期 | | 2 | | |
| | | マクロ経済学Ⅰ | 2 | 前期 | | 2 | | |
| 情報リテラシーⅠ | | 2 | 後期 | | 1 | | | |
| 情報リテラシーⅡ | | 3 | 前期 | | 1 | | | |
| 情報リテラシーⅢ | | 3 | 後期 | | 2 | | | |
| コミュニティサービスⅡ | | 3・4 | 前・後 | | 2 | | | |
| インターンシップ | | 2・3 | 前・後 | | 1 | | | |
| 小計(11科目) | | - | | 6 | 13 | 0 | | |
| 全学教育科目計 | | 小計(80科目) | | - | | 26 | 91 | 0 |
| 学科 | 専門科目 | 学科基幹科目 | 社会福祉原論Ⅰ | 1 | 前期 | | 2 | |
| | | | 社会福祉原論Ⅱ | 1 | 後期 | | 2 | |
| | | | ソーシャルワーク総論Ⅰ | 1 | 前期 | | 2 | |
| | | | ソーシャルワーク総論Ⅱ | 1 | 後期 | | 2 | |
| | | | 社会保障論Ⅰ | 2 | 前期 | | 2 | |
| | | | 社会保障論Ⅱ | 2 | 後期 | | 2 | |
| | | | 公的扶助論 | 3 | 後期 | | 2 | |
| | | | 地域福祉論Ⅰ | 2 | 後期 | | 2 | |
| | | | 地域福祉論Ⅱ | 3 | 前期 | | 2 | |
| | | | 精神保健学 | 2 | 通年 | | 4 | |
| | | | 精神医学 | 2 | 通年 | | 4 | |
| | | | 臨床心理学概論 | 1 | 後期 | | 2 | |
| | | | 社会心理学 | 2 | 前期 | | 2 | |
| | | | 現代社会論 | 1 | 後期 | | 2 | |
| | | | ジェンダー論 | 1 | 前期 | | 2 | |
| | | | 社会福祉特講(案) | 3 | 後期 | | 2 | |
| | | | 社会調査 | 2 | 後期 | | 2 | |
| | 小計(17科目) | | - | | 0 | 38 | 0 | |
| | 展開科目 | 社会福祉コース | 社会福祉援助技術論Ⅰ | 2 | 前期 | | 4 | |
| | | | 社会福祉援助技術論Ⅱ | 2 | 後期 | | 4 | |
| | | | 福祉行政と福祉計画 | 2 | 後期 | | 2 | |
| | | | 福祉運営管理 | 3 | 前期 | | 2 | |
| | | | 高齢者福祉論Ⅰ | 2 | 前期 | | 2 | |
| 高齢者福祉論Ⅱ | | | 2 | 後期 | | 2 | | |
| 障害者福祉論 | | | 2 | 前期 | | 2 | | |
| 児童福祉論 | | | 2 | 後期 | | 2 | | |
| 保健医療サービス | | | 3 | 前期 | | 2 | | |
| 就労支援サービス | | | 2 | 後期 | | 1 | | |
| 権利擁護と成年後見制度 | | | 3 | 前期 | | 2 | | |
| 更生保護制度 | | | 3 | 後期 | | 1 | | |
| 介護概論 | | | 2 | 後期 | | 2 | | |
| 小計(13科目) | | - | | 0 | 28 | 0 | | |
| 精神保健福祉コース | | 精神保健福祉論Ⅰ | 2 | 前期 | | 2 | | |
| | | 精神保健福祉論Ⅱ | 2 | 後期 | | 2 | | |
| | 精神科リハビリテーション学 | 2 | 通年 | | 4 | | | |

| 区分 | 科目名 | 配当年次 | | 単位数又は時間数 | | | 備考 | |
|------------|-------------|---------------|---------------|----------|------|----|----|---|
| | | | | 必修 | 選択 | 自由 | | |
| 学科 | 精神保健福祉コース | 精神保健福祉援助技術各論Ⅰ | 3 | 前期 | | 2 | | |
| | | 精神保健福祉援助技術各論Ⅱ | 3 | 後期 | | 2 | | |
| | | 小計(6科目) | - | | 0 | 12 | 0 | |
| | カウンセリグコース | 発達心理学 | 2 | 前期 | | 2 | | |
| | | 児童心理学 | 2 | 後期 | | 2 | | |
| | | 家族心理学 | 2 | 前期 | | 2 | | |
| | | 学習心理学 | 2 | 後期 | | 2 | | |
| | | 臨床心理学 | 2 | 後期 | | 2 | | |
| | | コミュニティ心理学 | 3 | 後期 | | 2 | | |
| | | 行動科学概論 | 3 | 後期 | | 2 | | |
| | | 行動分析 | 3 | 前期 | | 2 | | |
| | | 行動科学実験 | 3 | 前期 | | 2 | | |
| | | 心理学測定法 | 3 | 前期 | | 2 | | |
| | | 心理学実験 | 3 | 後期 | | 2 | | |
| | | 心理療法 | 4 | 前期 | | 2 | | |
| | | カウンセリング | 4 | 後期 | | 2 | | |
| | | 教育心理学 | 3 | 前期 | | 2 | | |
| | | 教育相談・カウンセリング | 3 | 後期 | | 2 | | |
| | 小計(15科目) | - | | 0 | 30 | 0 | | |
| | 展開科目 | スピリチュアルケアコース | スピリチュアルケア概論 | 1 | 後期 | | 2 | |
| | | | 死生学特講 | 2 | 後期 | | 2 | |
| | | | パストラルケア論 | 2 | 後期 | | 2 | |
| | | | 緩和ケア論 | 3 | 前期集中 | | 2 | |
| | | | 医療ボランティア論 | 3 | 後期集中 | | 2 | |
| | | | スピリチュアルケア技術論Ⅰ | 3 | 前期 | | 2 | |
| | | | スピリチュアルケア技術論Ⅱ | 3 | 後期 | | 2 | |
| | | | 臨床社会学 | 2 | 前期 | | 2 | |
| | | | いのちの教育 | 4 | 前期 | | 2 | |
| | | | 小計(9科目) | - | | 0 | 18 | 0 |
| | 演習・実習 | 相談援助演習Ⅰ | 2 | 前期 | | 1 | | |
| | | 相談援助演習Ⅱ | 2 | 後期 | | 1 | | |
| | | 相談援助演習Ⅲ | 3 | 前期 | | 1 | | |
| | | 相談援助演習Ⅳ | 3 | 後期 | | 1 | | |
| | | 相談援助演習Ⅴ | 4 | 前期 | | 1 | | |
| | | 相談援助実習指導Ⅰ | 2 | 後期 | | 2 | | |
| | | 相談援助実習指導Ⅱ | 3 | 前期 | | 2 | | |
| | | 相談援助実習指導Ⅲ | 3 | 後期 | | 2 | | |
| | | 相談援助実習 | 3 | 前期 | | 6 | | |
| | | 精神保健福祉援助演習Ⅰ | 3 | 後期 | | 1 | | |
| | | 精神保健福祉援助演習Ⅱ | 4 | 前期 | | 1 | | |
| | | 精神保健福祉援助実習Ⅰ | 4 | 前期 | | 2 | | |
| | | 精神保健福祉援助実習Ⅱ | 4 | 前期 | | 6 | | |
| | | 精神保健福祉援助実習Ⅲ | 4 | 後期 | | 1 | | |
| | | 介護技術演習 | 3 | 前期 | | 1 | | |
| | スピリチュアルケア演習 | 4 | 前期 | | 1 | | | |
| 小計(15科目) | - | | 0 | 30 | 0 | | | |
| 展開科目(58科目) | | - | | | | | | |
| 発展科目 | 専門演習Ⅰ | 3 | 通年 | 2 | | | | |
| | 専門演習Ⅱ | 4 | 通年 | 6 | | | | |
| | 小計(2科目) | - | | 8 | 0 | 0 | | |
| 関連科目 | 教育原理 | 1 | 後期 | | 2 | | | |
| | 教育学 | 2 | 前期 | | 2 | | | |
| | 教育社会学 | 1 | 後期 | | 2 | | | |
| | 教師論 | 1 | 後期 | | 2 | | | |
| | 社会教育基礎論 | 2 | 後期 | | 2 | | | |
| | 社会教育実践論 | 3 | 前期 | | 2 | | | |
| | 福祉科教育法Ⅰ | 3 | 前期 | | 2 | | | |
| | 福祉科教育法Ⅱ | 3 | 後期 | | 2 | | | |
| 小計(8科目) | - | | 0 | 16 | 0 | | | |
| 学科専門科目 | 合計(85科目) | - | | 8 | 154 | 0 | | |

上記のうち、下記の科目については、2009(平成21)年度2年次転入学生及び3年次編入学生より適用するものとする。

「医学一般」、「社会福祉原論Ⅰ」、「社会福祉原論Ⅱ」、「ソーシャルワーク総論Ⅰ」、「ソーシャルワーク総論Ⅱ」、「社会保障論Ⅰ」、「社会保障論Ⅱ」、「公的扶助論」、「地域福祉論Ⅰ」、「地域福祉論Ⅱ」、「社会福祉援助技術論Ⅰ」、「社会福祉援助技術論Ⅱ」、「福祉行財政と福祉計画」、「福祉運営管理」、「高齢者福祉論Ⅰ」、「高齢者福祉論Ⅱ」、「障害者福祉論」、「児童福祉論」、「保健医療サービス」、「就労支援サービス」、「権利擁護と成年後見制度」、「更生保護制度」、「介護概論」、「スピリチュアルケア概論」、「死生学特講」、「パストラルケア論」、「緩和ケア論」、「医療ボランティア論」、「スピリチュアルケア技術論Ⅰ」、「スピリチュアルケア技術論Ⅱ」、「臨床社会学」、「いのちの教育」、「相談援助演習Ⅰ」、「相談援助演習Ⅱ」、「相談援助演習Ⅲ」、「相談援助演習Ⅳ」、「相談援助演習Ⅴ」、「相談援助実習指導Ⅰ」、「相談援助実習指導Ⅱ」、「相談援助実習指導Ⅲ」、「相談援助実習」、「スピリチュアルケア演習」

| | | | | |
|----------------|-----------------|-----------------------|------|------|
| 卒業要件 | | 128単位 | | |
| 全学 教育 科目 | 基礎科目 | 必修 | 10単位 | |
| | 教養科目 | コミュニケーション科目 | 計 | 10単位 |
| | | | 必修 | 8単位 |
| | | | 選択 | 2単位 |
| | | その他の科目(コミュニケーション科目含む) | 選択 | 12単位 |
| | 専門科目 (学部共通) | 導入科目 | 計 | 4単位 |
| | | | 必修 | 2単位 |
| | | | 選択 | 2単位 |
| | | 学部基幹科目 | 計 | 12単位 |
| | | 必修 | 6単位 | |
| | 選択 | 6単位 | | |
| 学科 専門 科目 | 学科基幹科目 | 選択 | 12単位 | |
| | 展開科目 | 選択 | 54単位 | |
| | 関連科目(その他専門科目含む) | 選択 | 6単位 | |
| | 発展科目 | 必修 | 8単位 | |
| | | | 22単位 | |
| | | | 96単位 | |

別表第 I 授業科目の種類及び単位数
2.国際交流学科(2010年度入学者適用)

| 区分 | 科目名 | 配当年次 | | 単位数又は時間数 | | | 備考 | |
|----------|-----------------|--------------------------|----|----------|----|----|----|--|
| | | | | 必修 | 選択 | 自由 | | |
| 基礎科目 | 建学の理念と歴史 | 1 | 前期 | 2 | | | | |
| | 大学入門 I | 1 | 前期 | 1 | | | | |
| | 大学入門 II | 1 | 後期 | 1 | | | | |
| | コミュニケーションスキル | 2 | 前期 | 1 | | | | |
| | キャリアデザイン | 2 | 後期 | 1 | | | | |
| | 基礎演習 I | 1 | 通年 | 2 | | | | |
| | 基礎演習 II | 2 | 通年 | 2 | | | | |
| 小計(7科目) | | - | | 10 | 0 | 0 | | |
| 全学教育科目 | 英語 | CALL ENGLISH I | 1 | 前期 | 1 | | | |
| | | CALL ENGLISH II | 1 | 後期 | 1 | | | |
| | | Reading & Vocabulary I | 1 | 前期 | 1 | | | |
| | | Reading & Vocabulary II | 1 | 後期 | 1 | | | |
| | | Reading & Vocabulary III | 2 | 前期 | | 1 | | |
| | | Reading & Vocabulary IV | 2 | 後期 | | 1 | | |
| | | スピーキング I | 1 | 前期 | | 1 | | |
| | | スピーキング II | 1 | 後期 | | 1 | | |
| | | スピーキング III | 2 | 前期 | | 1 | | |
| | | スピーキング IV | 2 | 後期 | | 1 | | |
| | | 英語コミュニケーション I | 2 | 前期 | | 2 | | |
| | | 英語コミュニケーション II | 2 | 後期 | | 2 | | |
| | | TOEIC PREP. I | 1 | 前期 | | 1 | | |
| | | TOEIC PREP. II | 1 | 後期 | | 1 | | |
| | TOEIC PREP. III | 2 | 前期 | | 1 | | | |
| | TOEIC PREP. IV | 2 | 後期 | | 1 | | | |
| | 中国語 | 中国語入門 I | 1 | 前期 | | 1 | | |
| | | 中国語入門 II | 1 | 後期 | | 1 | | |
| | | 中国語会話 I | 1 | 後期 | | 1 | | |
| | | 中国語会話 II | 2 | 前期 | | 1 | | |
| | 日本語 | 日本語 I-a | 1 | 前期 | | 1 | | |
| | | 日本語 I-b | 1 | 前期 | | 1 | | |
| | | 日本語 I-c | 1 | 前期 | | 1 | | |
| | | 日本語 I-d | 1 | 前期 | | 1 | | |
| | | 日本語 I-e | 1 | 前期 | | 1 | | |
| | | 日本語 I-f | 1 | 前期 | | 1 | | |
| | | 日本語 I-g | 1 | 前期 | | 1 | | |
| | | 日本語 I-h | 1 | 前期 | | 1 | | |
| | | 日本語 I-i | 1 | 前期 | | 1 | | |
| | | 日本語 I-j | 1 | 前期 | | 1 | | |
| | | 日本語 I-k | 1 | 前期 | | 1 | | |
| | 日本語スピーキング I | 1 | 前期 | | 1 | | | |
| | 韓国語 | 韓国語コミュニケーション I | 1 | 前期 | | 1 | | |
| | | 韓国語コミュニケーション II | 1 | 後期 | | 1 | | |
| | 手話・点字 | 日本語手話 | 2 | 前期 | | 2 | | |
| | | 日本語応用手話 | 2 | 後期 | | 2 | | |
| | | 点字 | 2 | 後期 | | 2 | | |
| 小計(37科目) | | - | | 4 | 38 | 0 | | |
| 情報処理 | 情報処理論 | 1 | 前期 | 2 | | | | |
| | 情報処理演習 I | 1 | 前期 | 1 | | | | |
| | 情報処理演習 II | 1 | 後期 | 1 | | | | |
| | 情報処理演習 III | 2 | 前期 | | 1 | | | |
| | 統計学 I | 1 | 前期 | | 2 | | | |
| | 統計学 II | 1 | 後期 | | 2 | | | |
| 小計(6科目) | | - | | 4 | 5 | 0 | | |
| 教養科目 | 哲学 | 1 | 前期 | | 2 | | | |
| | 倫理学 | 1 | 後期 | | 2 | | | |
| | 死生学 | 2 | 前期 | | 2 | | | |
| | 法学 | 2 | 前期 | | 2 | | | |
| | 法律学 | 1 | 前期 | | 2 | | | |
| | 心理学 | 1 | 前期 | | 2 | | | |
| | 経済学 | 1 | 後期 | | 2 | | | |

| 区分 | 科目名 | | 配当年次 | | 単位数又は時間数 | | | 備考 | |
|---------------|----------|--------------------|----------------------|-----|----------|----|----|----|--|
| | | | | | 必修 | 選択 | 自由 | | |
| 全学教育科目 | 教養科目 | 日本史 | 2 | 前期 | | 2 | | | |
| | | 外国史 | 2 | 後期 | | 2 | | | |
| | | 地理学 | 1 | 前期 | | 2 | | | |
| | | 現代社会と科学 | 2 | 後期 | | 2 | | | |
| | | 現代社会と芸術 | 1 | 前期 | | 2 | | | |
| | | 健康の科学 | 1 | 前期 | | 2 | | | |
| | | スポーツ実習 | 1 | 前期 | | 1 | | | |
| | | 医学一般 | 1 | 後期 | | 2 | | | |
| | 小計(15科目) | | - | | 0 | 29 | 0 | | |
| | 導入科目 | 福祉コミュニティ総論 | 1 | 前期 | 2 | | | | |
| | | 共生社会論 | 1 | 後期 | | 2 | | | |
| | | NICEキャンパスコーディネート科目 | 2 | 後期 | | 2 | | | |
| | | コミュニティサービス I | 1・2 | 前・後 | | 2 | | | |
| | 小計(4科目) | | - | | 2 | 6 | 0 | | |
| | 専門科目 | 学部基幹科目 | 現代社会とキリスト教 I | 1 | 前期 | 2 | | | |
| | | | 現代社会とキリスト教 II | 4 | 後期 | 2 | | | |
| | | | 社会学原論 | 1 | 前期 | 2 | | | |
| | | | コミュニケーション論 | 2 | 前期 | | 2 | | |
| | | | ミクロ経済学 I | 1 | 後期 | | 2 | | |
| | | | マクロ経済学 I | 2 | 前期 | | 2 | | |
| | | | 情報リテラシー I | 2 | 後期 | | 1 | | |
| 情報リテラシー II | | | 3 | 前期 | | 1 | | | |
| 情報リテラシー III | | | 3 | 後期 | | 2 | | | |
| コミュニティサービス II | | | 3・4 | 前・後 | | 2 | | | |
| インターンシップ | | | 2・3 | 前・後 | | 1 | | | |
| 小計(11科目) | | - | | 6 | 13 | 0 | | | |
| 全学教育科目計 | | 小計(80科目) | | - | 26 | 91 | 0 | | |
| 専門科目 | 学科基幹科目 | 地球市民論 | 1 | 前期 | | 2 | | | |
| | | 国際交流論 | 2 | 後期 | | 2 | | | |
| | | 文化人類学 | 3 | 前期 | | 2 | | | |
| | | 比較文化論 | 2 | 前期 | | 2 | | | |
| | | 日本文化論 | 1 | 後期 | | 2 | | | |
| | | 欧米文化論 | 1 | 前期 | | 2 | | | |
| | | 異文化間コミュニケーション論 | 2 | 前期 | | 2 | | | |
| | | ジェンダー論 | 1 | 前期 | | 2 | | | |
| | 小計(8科目) | | - | | 0 | 16 | 0 | | |
| 展開科目 | 領域群 | 外国語 | 英語コミュニケーション III | 3 | 前期 | | 2 | | |
| | | | 英語コミュニケーション IV | 3 | 後期 | | 2 | | |
| | | | 英語クリエイティブ・ライティング I | 3 | 前期 | | 1 | | |
| | | | 英語クリエイティブ・ライティング II | 3 | 後期 | | 1 | | |
| | | | 英語クリエイティブ・ライティング III | 4 | 前期 | | 1 | | |
| | | | 英語クリエイティブ・ライティング IV | 4 | 後期 | | 1 | | |
| | | | 英語プレゼンテーション I | 4 | 前期 | | 2 | | |
| | | | 英語プレゼンテーション II | 4 | 後期 | | 2 | | |
| | | | 中国語発音 | 1 | 前期 | | 1 | | |
| | | | 中国語基礎 | 1 | 前期 | | 1 | | |
| | | | 中国語読解 | 1 | 後期 | | 1 | | |
| | | | 中国語文法 | 1 | 後期 | | 1 | | |
| | | | 中国語精読 | 2 | 前期 | | 1 | | |
| | | | 中国語会話 III | 2 | 後期 | | 1 | | |
| | | | 中国語ヒアリング I | 1 | 後期 | | 1 | | |
| | | | 中国語ヒアリング II | 2 | 前期 | | 1 | | |
| | | | 日本語 II-a | 1 | 後期 | | 1 | | |
| | | | 日本語 II-b | 1 | 後期 | | 1 | | |
| | | | 日本語 II-c | 1 | 後期 | | 1 | | |
| | | | 日本語 II-d | 1 | 後期 | | 1 | | |
| | | | 日本語 II-e | 1 | 後期 | | 1 | | |
| 日本語 II-f | 1 | 後期 | | 1 | | | | | |
| 日本語 II-g | 1 | 後期 | | 1 | | | | | |
| 日本語 II-h | 1 | 後期 | | 1 | | | | | |
| 日本語 II-i | 1 | 後期 | | 1 | | | | | |
| 日本語 II-j | 1 | 後期 | | 1 | | | | | |

| 区分 | | | 授業科目の名称 | 配当年次 | | 単位数又は時間数 | | | 備考 | |
|--------------|---------------|---------|-------------|---------|----|----------|----|----|----|--|
| | | | | | | 必修 | 選択 | 自由 | | |
| 専門科目 | 展開科目 | 領域群 | 日本語Ⅱ-k | 1 | 後期 | | 1 | | | |
| | | | 日本語スピーキングⅡ | 1 | 後期 | | 1 | | | |
| | | | 日本語学 | 3 | 後期 | | 2 | | | |
| | | | 小計(30科目) | - | | 0 | 34 | 0 | | |
| | | 国際交流 | 国際関係論 | 2 | 後期 | | 2 | | | |
| | | | 国際協力論 | 3 | 前期 | | 2 | | | |
| | | | グローバル・スタディー | 3 | 前期 | | 2 | | | |
| | | | 国際保健論 | 3 | 後期 | | 2 | | | |
| | | | 日本語教育論 | 1 | 後期 | | 2 | | | |
| | | | 日本語教授法研究Ⅰ | 2 | 前期 | | 2 | | | |
| | | | 日本語教授法研究Ⅱ | 2 | 後期 | | 2 | | | |
| | | 小計(7科目) | - | | 0 | 14 | 0 | | | |
| | | コース | 英語コミュニケーション | 社会言語学 | 3 | 前期 | | 2 | | |
| | | | | 英語学概論 | 3 | 後期 | | 2 | | |
| | | | | 英語音声学 | 3 | 後期 | | 2 | | |
| | | | | 英米文学概論 | 1 | 後期 | | 2 | | |
| | | | | 英語科教育法Ⅰ | 3 | 前期 | | 2 | | |
| | | | | 英語科教育法Ⅱ | 3 | 前期 | | 2 | | |
| | | | | 英語科教育法Ⅲ | 3 | 後期 | | 2 | | |
| | | | | 英語科教育法Ⅳ | 3 | 後期 | | 2 | | |
| | | | | 英語実務翻訳Ⅰ | 3 | 前期 | | 2 | | |
| 英語実務翻訳Ⅱ | 3 | | | 後期 | | 2 | | | | |
| 英語通訳Ⅰ | 3 | | | 前期 | | 2 | | | | |
| 英語通訳Ⅱ | 3 | | | 後期 | | 2 | | | | |
| 小計(12科目) | - | | | | 0 | 24 | 0 | | | |
| 中国語コミュニケーション | アジア文化論 | 2 | 前期 | | 2 | | | | | |
| | 資格中国語Ⅰ | 3 | 前期 | | 1 | | | | | |
| | 資格中国語Ⅱ | 3 | 後期 | | 1 | | | | | |
| | 中国語翻訳論 | 3 | 前期 | | 2 | | | | | |
| | 中国語文学作品講読 | 3 | 後期 | | 2 | | | | | |
| | 現代中国経済事情 | 3 | 前期 | | 2 | | | | | |
| | 実務中国語 | 2 | 後期 | | 4 | | | | | |
| | 中国の伝統と文化 | 2 | 後期 | | 4 | | | | | |
| | 現代中国事情 | 2 | 後期 | | 2 | | | | | |
| | 現代中国社会論 | 2 | 後期 | | 4 | | | | | |
| | 中国の仕事と生活 | 2 | 後期 | | 2 | | | | | |
| | ビジネス中国語 | 4 | 前期 | | 2 | | | | | |
| | 時事中国語 | 3 | 前期 | | 2 | | | | | |
| | 小計(13科目) | - | | 0 | 30 | 0 | | | | |
| 日本文化コース | CALL日本語Ⅰ | 1 | 前期 | | 1 | | | | | |
| | CALL日本語Ⅱ | 1 | 後期 | | 1 | | | | | |
| | 日本事情Ⅰ | 1 | 前期 | | 2 | | | | | |
| | 日本事情Ⅱ | 1 | 後期 | | 2 | | | | | |
| | 日本語購読Ⅰ | 2 | 前期 | | 2 | | | | | |
| | 日本語購読Ⅱ | 2 | 後期 | | 2 | | | | | |
| | 実用日本語Ⅰ | 2 | 前期 | | 2 | | | | | |
| | 実用日本語Ⅱ | 2 | 後期 | | 2 | | | | | |
| | 日本語文章表現法Ⅰ | 2 | 前期 | | 2 | | | | | |
| | 日本語文章表現法Ⅱ | 2 | 後期 | | 2 | | | | | |
| | 日本語プレゼンテーションⅠ | 2 | 前期 | | 2 | | | | | |
| | 日本語プレゼンテーションⅡ | 2 | 後期 | | 2 | | | | | |
| | 中日翻訳Ⅰ | 2 | 前期 | | 2 | | | | | |
| | 中日翻訳Ⅱ | 2 | 後期 | | 2 | | | | | |
| | 日本研究Ⅰ | 2 | 後期 | | 2 | | | | | |
| | 日本研究Ⅱ | 3 | 前期 | | 2 | | | | | |
| | 日本研究Ⅲ | 3 | 後期 | | 2 | | | | | |
| | 日本研究Ⅳ | 4 | 前期 | | 2 | | | | | |
| | 日本伝統芸術(華道) | 1 | 前・後 | | 1 | | | | | |
| | 日本伝統芸術(書道) | 1 | 前・後 | | 1 | | | | | |
| | 日本伝統芸術(茶道) | 1 | 前・後 | | 1 | | | | | |
| 小計(21科目) | - | | 0 | 37 | 0 | | | | | |

| 区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | | 単位数又は時間数 | | | 備考 |
|----------|------------|--------------|----|----------|-----|-----|----|
| | | | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 専門科目 | 演習・実習科目 | アジア・パシフィック研究 | 2 | 前期 | | 2 | |
| | | 海外語学研修 | 2 | 後期 | | 2 | |
| | | 海外実習 | 3 | 後期 | | 2 | |
| | | 日本語教育実習 | 3 | 後期 | | 2 | |
| | | 小計(4科目) | - | | 0 | 8 | 0 |
| | 展開科目(87科目) | | - | | 0 | 147 | 0 |
| | | 会計論 | 3 | 後期 | | 2 | |
| | | 教育学 | 2 | 前期 | | 2 | |
| | | 教育原理 | 1 | 後期 | | 2 | |
| | | 教師論 | 1 | 後期 | | 2 | |
| | | 発達心理学 | 2 | 前期 | | 2 | |
| | | 教育心理学 | 3 | 前期 | | 2 | |
| | | 教育相談・カウンセリング | 3 | 後期 | | 2 | |
| | | 教育社会学 | 1 | 後期 | | 2 | |
| | | 社会教育基礎論 | 2 | 後期 | | 2 | |
| 社会教育実践論 | | 3 | 前期 | | 2 | | |
| 小計(10科目) | | - | | 0 | 20 | 0 | |
| 発展科目 | 専門演習Ⅰ | 3 | 通年 | 2 | | | |
| | 専門演習Ⅱ | 4 | 通年 | 6 | | | |
| | 小計(2科目) | - | | 8 | 0 | 0 | |
| 学科専門科目 | 合計(107科目) | | - | 8 | 183 | 0 | |

| 卒業要件 | | 128単位 | | |
|--------|-----------------|-----------------------|------|------|
| 全学教育科目 | 基礎科目 | 必修 | 10単位 | |
| | 教養科目 | コミュニケーション科目 | 計 | 10単位 |
| | | | 必修 | 8単位 |
| | | | 選択 | 2単位 |
| | | その他の科目(コミュニケーション科目含む) | 選択 | 12単位 |
| | 専門科目(学部共通) | 導入科目 | 計 | 4単位 |
| | | | 必修 | 2単位 |
| | | | 選択 | 2単位 |
| | | 学部基幹科目 | 計 | 12単位 |
| | | | 必修 | 6単位 |
| | | 選択 | 6単位 | |
| 学科専門科目 | 学科基幹科目 | 選択 | 12単位 | |
| | 展開科目 | 選択 | 54単位 | |
| | 関連科目(その他専門科目含む) | 選択 | 6単位 | |
| | 発展科目 | 必修 | 8単位 | |

別表第 I 授業科目の種類及び単位数
3.経済学科(2010年度入学者適用)

| 区分 | 科目名 | 配当年次 | | 単位数又は時間数 | | | 備考 | |
|----------|-----------------|--------------------------|----------------|----------|----|----|----|--|
| | | | | 必修 | 選択 | 自由 | | |
| 基礎科目 | 建学の理念と歴史 | 1 | 前期 | 2 | | | | |
| | 大学入門 I | 1 | 前期 | 1 | | | | |
| | 大学入門 II | 1 | 後期 | 1 | | | | |
| | コミュニケーションスキル | 2 | 前期 | 1 | | | | |
| | キャリアデザイン | 2 | 後期 | 1 | | | | |
| | 基礎演習 I | 1 | 通年 | 2 | | | | |
| | 基礎演習 II | 2 | 通年 | 2 | | | | |
| 小計(7科目) | | - | | 10 | 0 | 0 | | |
| 全学教育科目 | 英語 | CALL ENGLISH I | 1 | 前期 | 1 | | | |
| | | CALL ENGLISH II | 1 | 後期 | 1 | | | |
| | | Reading & Vocabulary I | 1 | 前期 | 1 | | | |
| | | Reading & Vocabulary II | 1 | 後期 | 1 | | | |
| | | Reading & Vocabulary III | 2 | 前期 | | 1 | | |
| | | Reading & Vocabulary IV | 2 | 後期 | | 1 | | |
| | | スピーキング I | 1 | 前期 | | 1 | | |
| | | スピーキング II | 1 | 後期 | | 1 | | |
| | | スピーキング III | 2 | 前期 | | 1 | | |
| | | スピーキング IV | 2 | 後期 | | 1 | | |
| | | 英語コミュニケーション I | 2 | 前期 | | 2 | | |
| | | 英語コミュニケーション II | 2 | 後期 | | 2 | | |
| | | TOEIC PREP. I | 1 | 前期 | | 1 | | |
| | | TOEIC PREP. II | 1 | 後期 | | 1 | | |
| | TOEIC PREP. III | 2 | 前期 | | 1 | | | |
| | TOEIC PREP. IV | 2 | 後期 | | 1 | | | |
| | 中国語 | 中国語入門 I | 1 | 前期 | | 1 | | |
| | | 中国語入門 II | 1 | 後期 | | 1 | | |
| | | 中国語会話 I | 1 | 後期 | | 1 | | |
| | | 中国語会話 II | 2 | 前期 | | 1 | | |
| | 日本語 | 日本語 I-a | 1 | 前期 | | 1 | | |
| | | 日本語 I-b | 1 | 前期 | | 1 | | |
| | | 日本語 I-c | 1 | 前期 | | 1 | | |
| | | 日本語 I-d | 1 | 前期 | | 1 | | |
| | | 日本語 I-e | 1 | 前期 | | 1 | | |
| | | 日本語 I-f | 1 | 前期 | | 1 | | |
| | | 日本語 I-g | 1 | 前期 | | 1 | | |
| | | 日本語 I-h | 1 | 前期 | | 1 | | |
| | | 日本語 I-i | 1 | 前期 | | 1 | | |
| | | 日本語 I-j | 1 | 前期 | | 1 | | |
| | | 日本語 I-k | 1 | 前期 | | 1 | | |
| | | 日本語スピーキング I | 1 | 前期 | | 1 | | |
| | | 韓国語 | 韓国語コミュニケーション I | 1 | 前期 | | 1 | |
| | 韓国語コミュニケーション II | | 1 | 後期 | | 1 | | |
| | 手話・点字 | 日本語手話 | 2 | 前期 | | 2 | | |
| | | 日本語応用手話 | 2 | 後期 | | 2 | | |
| | | 点字 | 2 | 後期 | | 2 | | |
| 小計(37科目) | | - | | 4 | 38 | 0 | | |
| 情報処理 | 情報処理論 | 1 | 前期 | 2 | | | | |
| | 情報処理演習 I | 1 | 前期 | 1 | | | | |
| | 情報処理演習 II | 1 | 後期 | 1 | | | | |
| | 情報処理演習 III | 2 | 前期 | | 1 | | | |
| | 統計学 I | 1 | 前期 | | 2 | | | |
| | 統計学 II | 1 | 後期 | | 2 | | | |
| 小計(6科目) | | - | | 4 | 5 | 0 | | |
| 教養科目 | 哲学 | 1 | 前期 | | 2 | | | |
| | 倫理学 | 1 | 後期 | | 2 | | | |
| | 死生学 | 2 | 前期 | | 2 | | | |
| | 法学 | 2 | 前期 | | 2 | | | |
| | 法律学 | 1 | 前期 | | 2 | | | |
| | 心理学 | 1 | 前期 | | 2 | | | |
| | 経済学 | 1 | 後期 | | 2 | | | |

| 区分 | 科目名 | 配当年次 | | 単位数又は時間数 | | | 備考 | |
|-------------|-----------|--------------------|-------------|----------|----|----|----|---|
| | | | | 必修 | 選択 | 自由 | | |
| 全学教育科目 | 教養科目 | 日本史 | 2 | 前期 | | 2 | | |
| | | 外国史 | 2 | 後期 | | 2 | | |
| | | 地理学 | 1 | 前期 | | 2 | | |
| | | 現代社会と科学 | 2 | 後期 | | 2 | | |
| | | 現代社会と芸術 | 1 | 前期 | | 2 | | |
| | | 健康の科学 | 1 | 前期 | | 2 | | |
| | | スポーツ実習 | 1 | 前期 | | 1 | | |
| | | 医学一般 | 1 | 後期 | | 2 | | |
| | 小計(15科目) | | - | | 0 | 29 | 0 | |
| | 導入科目 | 福祉コミュニティ総論 | 1 | 前期 | 2 | | | |
| | | 共生社会論 | 1 | 後期 | | 2 | | |
| | | NICEキャンパスコーディネート科目 | 2 | 後期 | | 2 | | |
| | | コミュニティサービスⅠ | 1・2 | 前・後 | | 2 | | |
| | 小計(4科目) | | - | | 2 | 6 | 0 | |
| | 専門科目 | 学部基幹科目 | 現代社会とキリスト教Ⅰ | 1 | 前期 | 2 | | |
| 現代社会とキリスト教Ⅱ | | | 4 | 後期 | 2 | | | |
| 社会学原論 | | | 1 | 前期 | 2 | | | |
| コミュニケーション論 | | | 2 | 前期 | | 2 | | |
| ミクロ経済学Ⅰ | | | 1 | 後期 | | 2 | | |
| マクロ経済学Ⅰ | | | 2 | 前期 | | 2 | | |
| 情報リテラシーⅠ | | | 2 | 後期 | | 1 | | |
| 情報リテラシーⅡ | | | 3 | 前期 | | 1 | | |
| 情報リテラシーⅢ | | | 3 | 後期 | | 2 | | |
| コミュニティサービスⅡ | | | 3・4 | 前・後 | | 2 | | |
| インターンシップ | | | 2・3 | 前・後 | | 1 | | |
| 小計(11科目) | | - | | 6 | 13 | 0 | | |
| 全学教育科目計 | | 小計(80科目) | | - | | 26 | 91 | 0 |
| 専門科目 | 学科基幹科目 | ミクロ経済学Ⅱ | 2 | 前期 | 4 | | | |
| | | マクロ経済学Ⅱ | 2 | 後期 | 4 | | | |
| | | 計量経済学 | 3 | 前期 | | 2 | | |
| | | 財政学 | 1 | 後期 | | 2 | | |
| | | 国際経済学 | 2 | 後期 | | 2 | | |
| | | 地域経済論 | 2 | 後期 | | 2 | | |
| | | 地域づくり論 | 1 | 後期 | 2 | | | |
| | | コミュニティ論 | 2 | 前期 | | 2 | | |
| | | 比較文化論 | 3 | 前期 | | 2 | | |
| | | 国際関係論 | 2 | 後期 | | 2 | | |
| | | 社会心理学 | 2 | 前期 | | 2 | | |
| | | 経営学総論 | 2 | 前期 | | 2 | | |
| | | マーケティング論 | 2 | 後期 | | 2 | | |
| | | 会計学 | 3 | 集中 | | 2 | | |
| | | 簿記Ⅰ | 2 | 前期 | | 2 | | |
| | | 社会調査 | 2 | 後期 | | 2 | | |
| | 小計(16科目) | | - | | 10 | 26 | 0 | |
| | 展開科目 | 経済・政策領域 | 経済学説史 | 2 | 前期 | | 2 | |
| | | | 日本経済史 | 2 | 後期 | | 2 | |
| | | | アジア経済史 | 3 | 前期 | | 2 | |
| 金融論Ⅰ | | | 2 | 後期 | | 2 | | |
| 金融論Ⅱ | | | 3 | 前期 | | 2 | | |
| 現代流通論 | | | 3 | 後期 | | 2 | | |
| 貿易論 | | | 3 | 前期 | | 2 | | |
| 現代中国経済事情 | | | 4 | 前期 | | 2 | | |
| 開発経済論 | | | 3 | 後期 | | 2 | | |
| 環境経済・政策論 | | | 3 | 後期 | | 2 | | |
| 資源・環境論 | | | 3 | 前期 | | 2 | | |
| 文化経済学 | | | 3 | 前期 | | 2 | | |
| 地方自治論 | | | 3 | 前期 | | 2 | | |
| 地方財政論 | | | 3 | 前期 | | 2 | | |
| 行政法概論 | 3 | 後期 | | 2 | | | | |
| 小計(15科目) | | - | | 0 | 28 | 0 | | |
| 地域経営領域 | 経営管理論 | 3 | 後期 | | 2 | | | |
| | 経営情報システム論 | 4 | 前期 | | 2 | | | |

| 区分 | | 科目名 | 配当年次 | | 単位数又は時間数 | | | 備考 | |
|------------|----------|-------------|-------------------|----|----------|----|----|----|--|
| | | | | | 必修 | 選択 | 自由 | | |
| 展開科目 | 地域経営領域 | 労務管理論 | 3 | 前期 | | 2 | | | |
| | | 地域情報論 | 3 | 後期 | | 2 | | | |
| | | 地域振興論 | 3 | 後期 | | 2 | | | |
| | | コミュニティ・ビジネス | 3 | 後期 | | 2 | | | |
| | | NPO論 | 3 | 後期 | | 2 | | | |
| | | 島嶼開発論 | 3 | 前期 | | 2 | | | |
| | | 民法 | 3 | 前期 | | 2 | | | |
| | | 商法 | 3 | 後期 | | 2 | | | |
| | | 企業法 | 4 | 前期 | | | | | |
| | | 労働法 | 3 | 後期 | | 2 | | | |
| | | 簿記Ⅱ | 2 | 後期 | | 2 | | | |
| | | 小計(13科目) | | - | | 0 | 24 | 0 | |
| | | 社会開発領域 | 社会開発と人間 | 2 | 後期 | | 2 | | |
| | 地域文化開発論 | | 2 | 前期 | | 2 | | | |
| | 地域宗教論 | | 2 | 前期 | | 2 | | | |
| | 地域生活環境論 | | 2 | 後期 | | 2 | | | |
| | 日本文化論 | | 1 | 後期 | | 2 | | | |
| | ジェンダー論 | | 1 | 前期 | | 2 | | | |
| | 社会開発と教育 | | 3 | 前期 | | 2 | | | |
| | 社会教育基礎論 | | 2 | 後期 | | 2 | | | |
| | 社会教育実践論 | | 3 | 前期 | | 2 | | | |
| | 国際協力論 | | 3 | 前期 | | 2 | | | |
| | 国際福祉論 | | 3 | 後期 | | 2 | | | |
| | 公衆衛生論 | | 3 | 前期 | | 2 | | | |
| | 小計(12科目) | | - | | 0 | 24 | 0 | | |
| | 専門科目 | 外国語領域 | 英語コミュニケーションⅢ | 3 | 前期 | | 2 | | |
| | | | 英語コミュニケーションⅣ | 3 | 後期 | | 2 | | |
| | | | 英語クリエイティブ・ライティングⅠ | 3 | 前期 | | 1 | | |
| | | | 英語クリエイティブ・ライティングⅡ | 3 | 後期 | | 1 | | |
| | | | 英語クリエイティブ・ライティングⅢ | 4 | 前期 | | 1 | | |
| | | | 英語クリエイティブ・ライティングⅣ | 4 | 後期 | | 1 | | |
| | | | 英語プレゼンテーションⅠ | 4 | 前期 | | 2 | | |
| | | | 英語プレゼンテーションⅡ | 4 | 後期 | | 2 | | |
| | | | 中国語発音 | 1 | 前期 | | 1 | | |
| | | | 中国語基礎 | 1 | 前期 | | 1 | | |
| | | | 中国語読解 | 1 | 後期 | | 1 | | |
| | | | 中国語文法 | 1 | 後期 | | 1 | | |
| | | | 中国語精読 | 2 | 前期 | | 1 | | |
| | | | 中国語会話Ⅲ | 2 | 後期 | | 1 | | |
| | | | 中国語ヒアリングⅠ | 1 | 後期 | | 1 | | |
| | | | 中国語ヒアリングⅡ | 2 | 前期 | | 1 | | |
| | | | 日本語Ⅱ-a | 1 | 後期 | | 1 | | |
| | | | 日本語Ⅱ-b | 1 | 後期 | | 1 | | |
| 日本語Ⅱ-c | | | 1 | 後期 | | 1 | | | |
| 日本語Ⅱ-d | | | 1 | 後期 | | 1 | | | |
| 日本語Ⅱ-e | | | 1 | 後期 | | 1 | | | |
| 日本語Ⅱ-f | | | 1 | 後期 | | 1 | | | |
| 日本語Ⅱ-g | | | 1 | 後期 | | 1 | | | |
| 日本語Ⅱ-h | | | 1 | 後期 | | 1 | | | |
| 日本語Ⅱ-i | | | 1 | 後期 | | 1 | | | |
| 日本語Ⅱ-j | | | 1 | 後期 | | 1 | | | |
| 日本語Ⅱ-k | | | 1 | 後期 | | 1 | | | |
| 日本語スピーキングⅡ | | | 1 | 後期 | | 1 | | | |
| 日本語学 | | | 3 | 後期 | | 2 | | | |
| 小計(29科目) | | - | | 0 | 34 | 0 | | | |
| 実習・演習 | | 地域実習 | 1 | 通年 | | 2 | | | |
| | | コミュニケーション演習 | 2 | 通年 | | 2 | | | |
| | | 社会調査演習 | 2 | 後期 | | 2 | | | |
| | 社会調査実習 | 3 | 通年 | | 2 | | | | |
| 小計(4科目) | | - | | 0 | 8 | 0 | | | |
| 関連科目 | 教育学 | 2 | 前期 | | 2 | | | | |
| | 教育社会学 | 1 | 後期 | | 2 | | | | |

| 区分 | 科目名 | 配当年次 | | 単位数又は時間数 | | | 備考 |
|---------|-----------|--------------|-------|----------|-----|----|----|
| | | | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 専門科目 | 関連科目 | 教育原理 | 1 | 前期 | | 2 | |
| | | 教育心理学 | 3 | 前期 | | 2 | |
| | | 教育相談・カウンセリング | 3 | 後期 | | 2 | |
| | | 教師論 | 1 | 後期 | | 2 | |
| | | 発達心理学 | 2 | 前期 | | 2 | |
| | | 学習心理学 | 2 | 後期 | | 2 | |
| | | 社会科教育法Ⅰ | 3 | 前期 | | 2 | |
| | | 社会科教育法Ⅱ | 3 | 後期 | | 2 | |
| | | 社会科・公民科教育法Ⅰ | 3 | 前期 | | 2 | |
| | | 社会科・公民科教育法Ⅱ | 3 | 後期 | | 2 | |
| | | 小計(12科目) | - | | 0 | 24 | 0 |
| | | 発展科目 | 専門演習Ⅰ | 3 | 通年 | 2 | |
| | 専門演習Ⅱ | | 4 | 通年 | 6 | | |
| 小計(2科目) | - | | 8 | 0 | 0 | | |
| 学科専門科目 | 合計(103科目) | - | | 18 | 168 | 0 | |

| 卒業要件 | | | 128単位 | |
|--------|-----------------|-----------------------|-------|------|
| 全学教育科目 | 基礎科目 | 必修 | 10単位 | |
| | 教養科目 | コミュニケーション科目 | 計 | 10単位 |
| | | | 必修 | 8単位 |
| | | | 選択 | 2単位 |
| | | その他の科目(コミュニケーション科目含む) | 選択 | 12単位 |
| | 専門科目(学部共通) | 導入科目 | 計 | 4単位 |
| | | | 必修 | 2単位 |
| | | | 選択 | 2単位 |
| | | 学部基幹科目 | 計 | 14単位 |
| | | | 必修 | 10単位 |
| | | 選択 | 4単位 | |
| 学科専門科目 | 学科基幹科目 | 選択 | 18単位 | |
| | 展開科目 | 選択 | 46単位 | |
| | 関連科目(その他専門科目含む) | 選択 | 6単位 | |
| | 発展科目 | 必修 | 8単位 | |

別表第2 教育職員免許状の所要資格を取得するための課程(2010年度入学者摘要)

○のついている科目は本課程における必修科目である。

1. 文部科学省令に定める科目

(教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目)

| 免許法施行規則に定める科目区分 | 単位数 | 本学開講授業科目 | 単位数 | 備考 |
|-----------------|-----|-----------------|-----|----|
| | | | | |
| 日本国憲法 | 2 | ○法学 | 2 | |
| 体育 | 2 | ○スポーツ実習 | 1 | |
| | | ○健康の科学 | 2 | |
| 外国語コミュニケーション | 2 | CALL ENGLISH I | 1 | ※ |
| | | CALL ENGLISH II | 1 | ※ |
| | | 中国語入門 I | 1 | |
| | | 中国語入門 II | 1 | |
| | | 韓国語コミュニケーション I | 1 | |
| | | 韓国語コミュニケーション II | 1 | |
| 情報機器の操作 | 2 | 情報処理論 | 2 | |
| | | 情報処理演習 I | 1 | |
| | | 情報処理演習 II | 1 | |

※「CALL ENGLISH I」及び「CALL ENGLISH II」は、高一種免(福祉)、高一種免(公民)、中一種免(社会)のみ外国語コミュニケーションの単位数として認める。

2. 教科に関する科目

(1) 社会福祉学科

高一種免(福祉)を取得する場合の教科に関する科目

| 免許法施行規則に定める科目区分 | 最低修得単位数 | 本学開講授業科目 | 単位数 | 備考 |
|--|---------|----------------|-----|------------|
| | | | | |
| 社会福祉学(職業指導を含む) | 20 | 社会福祉原論 I | 2 | |
| | | 社会福祉原論 II | 2 | |
| | | ○社会保障論 I | 2 | |
| | | ○社会保障論 II | 2 | |
| 高齢者福祉、児童福祉及び障害者福祉 | 20 | ○児童福祉論 | 4 | |
| | | ○高齢者福祉論 I | 2 | |
| | | ○高齢者福祉論 II | 2 | |
| | | ○障害者福祉論 | 2 | |
| 社会福祉援助技術 | 20 | 社会調査 | 2 | |
| | | ○ソーシャルワーク総論 I | 2 | |
| | | ○ソーシャルワーク総論 II | 2 | 社会福祉調査法を含む |
| | | ○社会福祉援助技術論 I | 4 | |
| | | 社会福祉援助技術論 II | 4 | |
| 介護理論及び介護技術 | 20 | ○介護概論 | 2 | |
| | | ○介護技術演習 | 2 | |
| 社会福祉総合実習(社会福祉援助実習及び社会福祉施設等における介護実習を含む) | 20 | ○相談援助演習 I | 1 | |
| | | ○相談援助演習 II | 1 | |
| | | ○相談援助演習 III | 1 | |
| | | ○相談援助演習 IV | 1 | |
| | | ○相談援助演習 V | 1 | |
| | | ○相談援助実習指導 I | 2 | |
| | | ○相談援助実習指導 II | 2 | |
| | | ○相談援助実習指導 III | 2 | |
| | | ○相談援助実習 | 6 | |

高一種免(公民)を取得する場合の教科に関する科目

| 免許法施行規則に定める 科目区分 | 最低修得 単位数 | 本学開講授業科目 | 単位数 | 備考 |
|---------------------------------|-------------|--------------|-----|----|
| | | | | |
| 「法学(国際法を含む。)、政治学 (国際政治を含む。)」 | 20 | ○法律学 | 2 | |
| | | 行政法概論 | 2 | |
| | | ○国際関係論 | 2 | |
| | | 地方自治論 | 2 | |
| 「社会学、経済学(国際経済を含 む。)」 | 20 | ○経済学 | 2 | |
| | | 福祉コミュニティ総論 | 2 | |
| | | 共生社会論 | 2 | |
| | | ○社会学原論 | 2 | |
| | | コミュニケーション論 | 2 | |
| 「哲学、倫理学、宗教学、心理学」 | 20 | ○現代社会とキリスト教Ⅰ | 2 | |
| | | 現代社会とキリスト教Ⅱ | 2 | |
| | | ○哲学 | 2 | |
| | | ○倫理学 | 2 | |
| | | ○心理学 | 2 | |
| | | 地域宗教論 | 2 | |
| | | 社会心理学 | 2 | |
| | | 臨床心理学概論 | 2 | |
| | | 臨床心理学 | 2 | |
| | | 児童心理学 | 2 | |
| | | コミュニティ心理学 | 2 | |

(2)経済学科

高一種免(公民)を取得する場合の教科に関する科目

| 免許法施行規則に定める 科目区分 | 最低修得 単位数 | 本学開講授業科目 | 単位数 | 備考 |
|---------------------------------|-------------|-------------|-----|--------|
| | | | | |
| 「法学(国際法を含む。)、政治学 (国際政治を含む。)」 | 20 | ○法律学 | 2 | |
| | | 行政法概論 | 2 | |
| | | ○国際関係論 | 2 | 国際政治含む |
| | | 地方自治論 | 2 | |
| 「社会学、経済学(国際経済を含 む。)」 | 20 | 福祉コミュニティ総論 | 2 | |
| | | 共生社会論 | 2 | |
| | | 社会学原論 | 2 | |
| | | コミュニケーション論 | 2 | |
| | | コミュニティ論 | 2 | |
| | | 国際福祉論 | 2 | |
| | | ○経済学 | 2 | |
| | | ミクロ経済学Ⅰ | 2 | |
| | | ミクロ経済学Ⅱ | 4 | |
| | | マクロ経済学Ⅰ | 2 | |
| | | マクロ経済学Ⅱ | 4 | |
| | | 地域経済論 | 2 | |
| | | 国際経済学 | 2 | |
| 地方財政論 | 2 | | | |
| 環境経済・政策論 | 2 | | | |
| 現代中国経済事情 | 2 | | | |
| 「哲学、倫理学、宗教学、心理学」 | 20 | ○哲学 | 2 | |
| | | ○倫理学 | 2 | |
| | | 現代社会とキリスト教Ⅰ | 2 | |
| | | 現代社会とキリスト教Ⅱ | 2 | |
| | | 地域宗教論 | 2 | |
| | | 社会心理学 | 2 | |

中一種免(社会)を取得する場合の教科に関する科目

| 免許法施行規則に定める 科目区分 | 最低修得 単位数 | 本学開講授業科目 | 単位数 | 備考 |
|---------------------|-------------|---------------|-----|------|
| | | | | |
| 日本史及び外国史 | 20 | ○日本史 | 2 | |
| | | ○外国史 | 2 | |
| | | 日本文化論 | 2 | |
| | | 比較文化論 | 2 | |
| 地理学(地誌を含む。) | 20 | ○地理学 | 2 | 地誌含む |
| | | 地域生活環境論 | 2 | |
| | | 資源・環境論 | 2 | |
| 「法学、政治学」 | 20 | ○法律学 | 2 | |
| | | 行政法概論 | 2 | |
| | | ○国際関係論 | 2 | |
| | | 地方自治論 | 2 | |
| 「社会学、経済学」 | 20 | ○経済学 | 2 | |
| | | 福祉コミュニティ総論 | 2 | |
| | | 共生社会論 | 2 | |
| | | 社会学原論 | 2 | |
| | | コミュニケーション論 | 2 | |
| | | コミュニティ論 | 2 | |
| | | 国際福祉論 | 2 | |
| | | ミクロ経済学 I | 2 | |
| | | ミクロ経済学 II | 4 | |
| | | マクロ経済学 I | 2 | |
| | | マクロ経済学 II | 4 | |
| | | 地域経済論 | 2 | |
| | | 国際経済学 | 2 | |
| | | 地方財政論 | 2 | |
| | | 環境経済・政策論 | 2 | |
| 現代中国経済事情 | 2 | | | |
| 「哲学、倫理学、宗教学、心理学」 | 20 | 現代社会とキリスト教 I | 2 | |
| | | 現代社会とキリスト教 II | 2 | |
| | | ○哲学 | 2 | |
| | | ○倫理学 | 2 | |
| | | 地域宗教論 | 2 | |

(3) 国際交流学科

高一種免(英語)、中一種免(英語)を取得する場合の教科に関する科目

| 免許法施行規則に定める 科目区分 | 最低修得 単位数 | 本学開講授業科目 | 単位数 | 備考 |
|---------------------|-------------|-------------------------|-----|----|
| | | | | |
| 英語学 | 20 | ○英語学概論 | 2 | |
| | | ○英語音声学 | 2 | |
| | | ○社会言語学 | 2 | |
| 英米文学 | 20 | ○英米文学概論 | 2 | |
| 英語コミュニケーション | | CALL ENGLISH I | 1 | |
| | | CALL ENGLISH II | 1 | |
| | | Reading & Vocabulary I | 1 | |
| | | Reading & Vocabulary II | 1 | |
| | | 英語コミュニケーション I | 2 | |
| | | 英語コミュニケーション II | 2 | |
| | | スピーキング I | 1 | |
| | | スピーキング II | 1 | |
| | | 英語パースペクティブ・リーディング | 2 | |

| 免許法施行規則に定める科目区分 | 最低修得単位数 | 本学開講授業科目 | 単位数 | 備考 |
|-----------------|---------|--------------------|-----|----|
| | | | | |
| 英語コミュニケーション | | 英語クリエイティブ・ライティング I | 2 | |
| | | ○英語プレゼンテーション I | 2 | |
| | | 英語実務翻訳 I | 2 | |
| | | 英語実務翻訳 II | 2 | |
| | | ○英語通訳 I | 2 | |
| | | 英語通訳 II | 2 | |
| 異文化理解 | | ○異文化間コミュニケーション | 2 | |
| | | 欧米文化論 | 2 | |
| | | 地球市民論 | 2 | |

3. 教職に関する科目

| 文部科学省令免許法施行規則に定める科目区分 | 最低必要単位数 | 本学開講授業科目 | 単位数 | 本学が定める最低修得単位数 | | | | | 備考 |
|------------------------|-----------|---------------|-----|---------------|----|------|------|--------------------|-------------------------------|
| | | | | 高一種免 | | 中一種免 | | | |
| | | | | 福祉 | 公民 | 英語 | 社会 | 英語 | |
| 教職の意義等に関する科目 | 2 | ○教師論 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | |
| 教育の基礎理論に関する科目 | 6 | 教育学 | 2 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | |
| | | ○教育原理 | 2 | | | | | | |
| | | 発達心理学 | 2 | | | | | | |
| | | ○教育心理学 | 2 | | | | | | |
| | | 学習心理学 | 2 | | | | | | |
| | | ○教育社会学 | 2 | | | | | | |
| 社会教育基礎論 | 2 | | | | | | | | |
| 社会教育実践論 | 2 | | | | | | | | |
| 教育課程及び指導法に関する科目 | 中12 高6 | 福祉科教育法 I | 2 | 4 | | - | - | 教育課程の意義及び編成の方法を含む。 | |
| | | 福祉科教育法 II | 2 | | | | | | |
| | | 社会科・公民科教育法 I | 2 | - | 4 | - | 8 | | |
| | | 社会科・公民科教育法 II | 2 | | | | | | |
| | | 社会科教育法 I | 2 | - | - | - | 8 | | |
| | | 社会科教育法 II | 2 | | | | | | |
| | | 英語科教育法 I | 2 | - | - | 4 | - | | 8 |
| | | 英語科教育法 II | 2 | | | | | | |
| | | 英語科教育法 III | 2 | | | | | | |
| | | 英語科教育法 IV | 2 | | | | | | |
| ○道徳教育の理論と方法 | 2 | 4 | 4 | 4 | 6 | 6 | 中免のみ | | |
| ○特別活動の指導法 | 2 | | | | | | | | |
| ○教育方法学 | 2 | | | | | | | | |
| 生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目 | 4 | ○生徒・進路指導論 | 2 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | |
| | | ○教育相談・カウンセリング | 2 | | | | | | |
| 教育実習 | 中5 高3 | ○教育実習の研究 | 1 | 3 | 3 | 3 | 5 | 5 | 事前事後指導を含む 中免のみ必修 高免のみ必修 |
| | | 教育実習 I | 4 | | | | | | |
| | | 教育実習 II | 2 | | | | | | |
| 教職実践演習 | 2 | ○教職実践演習(中・高) | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | |

4. 教科又は教職に関する科目

| 免許の種類 | 授業科目 |
|---------------|--|
| 高等学校一種免許状(福祉) | 教科に関する科目及び教職に関する科目における最低履修単位数を超える科目の単位数をあてる。 |
| 高等学校一種免許状(公民) | |
| 高等学校一種免許状(英語) | |
| 中学校一種免許状(社会) | |
| 中学校一種免許状(英語) | |

別表第3 授業料等の金額

1. 入学検定料・入学金

| 項目 | 金額 | 備考 |
|-------|----------|-------------------|
| 入学検定料 | 30,000円 | |
| | 14,000円 | 大学入試センター利用入試 |
| | 20,000円 | 外国人入試(受験時海外居住者) |
| | 15,000円 | 外国人入試(受験時日本国内居住者) |
| 入学金 | 250,000円 | 入学時 |

2. 授業料・教育充実費

| 項目 | 前期 | 後期 | 年額 |
|-------|----------|----------|----------|
| 授業料 | 325,000円 | 325,000円 | 650,000円 |
| 教育充実費 | 110,000円 | 110,000円 | 220,000円 |

3. 実習費

2002～2008年度入学生適用

| 項目 | 金額 | 納入時期 | 備考 |
|-----------|---------|---------|---|
| 地域実習費Ⅰ | 60,000円 | 1年前期 | 「地域実習Ⅰ」履修者 |
| 地域実習費Ⅱ | 実費 | 3年前期 | 「地域実習Ⅱ」履修者 |
| 社会調査実習費 | 実費 | 3年前期 | 「社会調査実習」履修者 |
| 造形実習費Ⅰ | 3,000円 | 各学期のはじめ | 「造形芸術Ⅰ」を履修する者 |
| 造形実習費Ⅱ | 2,000円 | 各学期のはじめ | 「造形芸術Ⅱ」を履修する者 |
| 社会福祉実習費Ⅰ | 22,500円 | 各学期のはじめ | 「社会福祉援助技術現場実習Ⅰ」を履修する者 |
| 社会福祉実習費Ⅱ | 22,500円 | 各学期のはじめ | 「社会福祉援助技術現場実習Ⅱ」を履修する者 |
| 精神保健福祉実習費 | 45,000円 | 4年次前期 | 「精神保健福祉援助現場実習」(2002～2004年度入学生)、または「精神保健福祉援助実習Ⅱ」(2005～2008年度入学生)を履修する者 |

2009年度入学生適用

| 項目 | 金額 | 納入時期 | 備考 |
|-------------|---------|---------|---------------------------|
| 相談援助実習指導履修費 | 21,000円 | 3年次前期 | 「相談援助実習指導Ⅱ」を履修する者 |
| 相談援助実習費 | 24,000円 | 3年次前期 | 「相談援助実習」を履修する者 |
| 精神保健福祉実習費Ⅰ | 21,000円 | 4年次前期 | 「精神保健福祉援助実習Ⅰ」(事前指導)を履修する者 |
| 精神保健福祉実習費Ⅱ | 24,000円 | 4年次前期 | 「精神保健福祉援助実習Ⅱ」(本実習)を履修する者 |
| 地域実習費 | 実費 | 1年前期 | 「地域実習」履修者 |
| 社会調査実習費 | 実費 | 3年前期 | 「社会調査実習」履修者 |
| 造形実習費Ⅰ | 3,000円 | 各学期のはじめ | 「造形芸術Ⅰ」を履修する者 |
| 造形実習費Ⅱ | 2,000円 | 各学期のはじめ | 「造形芸術Ⅱ」を履修する者 |

2010年度入学生適用

| 項目 | 金額 | 納入時期 | 備考 |
|-------------|---------|---------|---------------------------|
| 相談援助実習指導履修費 | 21,000円 | 3年次前期 | 「相談援助実習指導Ⅱ」を履修する者 |
| 相談援助実習費 | 24,000円 | 3年次前期 | 「相談援助実習」を履修する者 |
| 精神保健福祉実習費Ⅰ | 21,000円 | 4年次前期 | 「精神保健福祉援助実習Ⅰ」(事前指導)を履修する者 |
| 精神保健福祉実習費Ⅱ | 24,000円 | 4年次前期 | 「精神保健福祉援助実習Ⅱ」(本実習)を履修する者 |
| 地域実習費 | 実費 | 1年前期 | 「地域実習」履修者 |
| 社会調査実習費 | 実費 | 3年前期 | 「社会調査実習」履修者 |
| 造形実習費Ⅰ | 3,000円 | 各学期のはじめ | 「造形芸術Ⅰ」を履修する者 |
| 造形実習費Ⅱ | 2,000円 | 各学期のはじめ | 「造形芸術Ⅱ」を履修する者 |

4. 教育職員免許状の所要資格を取得するための課程(教職課程) 履修費

2002年度入学生適用

| 項目 | 金額 | 納入時期 | 備考 |
|---------|---------|-------|---------------|
| 教育課程履修費 | 30,000円 | 1年次前期 | 教職課程を履修する者 |
| 教育実習費 | 30,000円 | 4年次前期 | 「教育実習Ⅱ」を履修する者 |

2003年度以降入学生適用

| 項目 | 金額 | 納入時期 | 備考 |
|------------|---------|-------|---|
| 教育課程履修費 | 10,000円 | 1年次前期 | 教職課程を履修する者 |
| 教育実習費(高一免) | 40,000円 | 4年次前期 | (2003・2004年度入学生)「教育実習Ⅱ」を履修する者で、 高等学校教諭一種免許状のみの取得を望む者 (2005年度以降入学生)「教育実習Ⅱ」を履修する者 |
| 教育実習費(中一免) | 50,000円 | 4年次前期 | (2003・2004年度入学生)「教育実習Ⅱ」を履修する者で、 中学校教諭一種免許状の取得を望む者 (2005年度以降入学生)「教育実習Ⅰ」を履修する者 |

5. 科目等履修生 履修費

| 項目 | 金額 | 納入時期 | 備考 |
|-----|------------|---------|--------------------------|
| 履修料 | 1科目12,000円 | 各学期のはじめ | 半期4単位の科目及び通年の履修料は24,000円 |

6. 研究生学納金

| 項目 | 前期 | 後期 | 年額 |
|-----|---------|---------|----------|
| 入学金 | 50,000円 | — | 50,000円 |
| 授業料 | 65,000円 | 65,000円 | 130,000円 |

7. 預かり金

| 項目 | 前期 | 後期 | 年額 | 備考 |
|-------|---------|---------|---------|--------|
| 同窓会費 | 3,600円 | — | 3,600円 | |
| 後援会費 | 10,000円 | 10,000円 | 20,000円 | |
| 学友会費 | 10,000円 | — | 10,000円 | |
| アルバム代 | 18,000円 | — | 18,000円 | 4年次生のみ |

長崎ウエスレヤン大学教授会規程

2002(平成14)年4月1日施行
2007(平成19)年4月1日最終改正

長崎ウエスレヤン大学教授会規程

(趣旨)

第1条 この規程は、長崎ウエスレヤン大学学則(以下「学則」という。)第十二条の規定に基づき、長崎ウエスレヤン大学教授会(以下「教授会」という。)の組織及び運営その他必要な事項について定める。

(構成)

第2条 教授会は、学長、教授、准教授、専任講師、助教及び大学事務局長をもって構成する。

2 教授会が必要と認めるときは、その他の職員を教授会に出席させ、意見を求めることができる。

(審議事項)

第3条 教授会は次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 教育課程及び授業に関する事項
- (2) 学生の試験、単位の認定及び学位の授与に関する事項
- (3) 入学、退学、休学、復学、卒業、除籍、賞罰等及び学生の身分に関する事項
- (4) 学生の福利厚生に関する事項
- (5) 第1号から第4号に関する諸規程の改廃に関する事項
- (6) その他学部の教育研究に関する重要事項

(召集)

第4条 学部長は、教授会を招集し、その議長となる。

2 学部長に事故あるときは、学部長があらかじめ指名するものがその職務を代行する。

(開催)

第5条 教授会は原則として毎月1回定例会議を開催するものとする。

2 学部長が必要と認めた場合は、臨時に教授会を開催することができる。

3 学部長は、構成員の3分の1以上の要請があるときは、教授会を開催しなければならない。

(定足数)

第6条 教授会は構成員の3分の2以上の出席がなければ成立しない。ただし、校務による不在者は、定足数から除くことができる。

(議決)

第7条 教授会の議決は、出席者の過半数の同意をもって決し、投票による場合は有効投票(白票を含む。)の過半数をもって決する。可否同数の場合は、議長の決するところによる。

(議事録)

第8条 教授会はその議事録を作成・保存し、公開しなければならない。

2 前項の議事録は、議長及び教授会でその都度選出された議事録署名人の署名捺印によって、確認を受けるものとする。

(規程の改廃等)

第9条 この規程の改廃は、教授会の議を経て、大学運営委員会が行う。

第10条 この規程に定めのない事項については、教授会の議を経て学長が行う。

附則

この規程は文部科学大臣が長崎ウエスレヤン大学の設置を認可した日より施行する。

附則

この規程は2007(平成19)年4月1日より施行する。